

日整広報 はつらつ

公益社団法人 日本柔道整復師会・機関誌
www.shadan-nissei.or.jp

VOL. 235
NOV. 2015

11



巻頭言 ぶれることなく真っ直ぐに…副会長 松岡 保

- ◎第24回日整全国少年柔道大会 04
- ◎第5回日整全国少年柔道形競技会 04
- ◎第39回日整全国柔道大会 11
- ◎平成27年度学術・生涯学習講習会 15
- ◎2015年度 第2回指導者候補 日本研修 開講式 23
- ◎連載その⑨ チンギスハーンの国 24

●目次

● 巻頭言 ぶれることなく真っ直ぐに 副会長 松岡 保	1
■ 文部科学大臣杯争奪 第24回日整全国少年柔道大会 第5回日整全国少年柔道形競技会 ...	4
■ 厚生労働大臣旗争奪 第39回日整全国柔道大会	11
■ 平成27年度学術・生涯学習講習会報告	15
■ 元日整会長 原 健先生を偲ぶ会 数々の業績を残す	20
■ 日本伝統治療（柔道整復術）指導者育成・普及プロジェクト活動報告	22
■ 日本伝統治療（柔道整復術）指導者育成・普及プロジェクト 2015年度 第2回指導者候補 日本研修 開講式報告	23
● 連載その⑨ チンギスハーンの国	24
■ 第42回日整親善ゴルフ宮城県大会	26
● 理事会だより	30
● 会務執行状況	33
● 平成27年度日整主催学術大会	34
● 学術シリーズ（第25回）「腰痛」鍛えるべきは骨盤につながる筋肉	35
● 本の紹介 江戸時代の医学 名医たちの300年	37
● 学術大会会員発表動画配信	39
日整 HP からご覧いただけます 学術部・国際部	40
● 投稿 2015年日本ベテランズ国際柔道大会	42
● 日整フォーラム 国民のため、地域住民のため、患者さんのため公益活動をしてまいります	43
茨城 群馬 千葉 石川 滋賀 奈良 兵庫	
■ 「ワン・ワールド・フェスティバル2016」開催のお知らせ	52
● 日整文芸	53
● 編集後記	54

●Web Page 日整ホームページ <http://www.shadan-nissei.or.jp/>

トップページの最新情報、健康情報誌「日整広報はつらつ」VOL.235
または「日整はつらつバックナンバー」から入り当ナンバー広報誌を
クリックしてご覧ください。QRコードもご利用ください。



ぶれることなく真っ直ぐに



公益社団法人日本柔道整復師会

副会長 松岡 保

このたび、役員改選において全国代議員の皆様より信任をいただき、再び副会長職の重責を担うことになりました。時が経つのは早いもので5ヶ月が過ぎようとしております。就任挨拶でも述べましたが、これまでの経験を十二分に生かし、日整執行部の一員として与えられた職責を誠心誠意全うしていく覚悟でございます。

また、前職である学術部長の職務で全国各地の学術大会に出席し、各地域で会員の先生方といろいろなお話をさせていただきました。業界の話はもとより、各地域で抱えている問題や日整への要望、また、労いの温かいお言葉も掛けていただくなど、とても貴重な経験を積ませていただくことができました。本当にありがとうございました。

さて、日整は各県社団会員で組織する全国組織であり、業界発展のため、そして何よりも会員のために汗水を流す執行部でなければなりません。今回の新体制は以前に比べると役員が全国各地からバランスよく選出され、工藤会長の英断で適材適所の登用・配置ならびに思い切った部員削減ができ、課題解決力は損なわずに組織のスリム化を図ることが実現しました。これ

により各部が取り組む課題が明確になり、諸問題に対して迅速に対応することが可能になったと考えます。

しかし、有為転変は世の習いとはいえ課題は依然多く、日整の組織強化、柔道整復師（特に施術管理者）の資質向上、公的審査会の権限強化、統一された基準策定（支給・審査）、行政や保険者の信頼回復、超高齢化社会における我われの役割、地域包括ケアシステムへの参入、国際化社会への対応等々、誌面で全て言い表すことはできませんが、過去から現在進行のものまで多岐多様にわたります。

その中でも、まず日整の組織強化と柔道整復師の資質向上を図ることが必要不可欠な最優先課題だと考えます。先日、厚労省が発表した統計調査によると就業柔道整復師数が63,873名ということでしたが、日整登録会員数の組織率は約40%と過半数を割り込んでおります。また、毎年約5,000名程度の柔道整復師が誕生しているにもかかわらず、会員数は年々減少傾向にあることも事実です。そのため、この原因を分析する必要があります。日整会員は各県への入会が前提であるため、各県が胡座^{あぐら}をかくことなく

自会の魅力を高め、ベテランから若い会員まで幅広い世代、そして勤務柔道整復師の意見にも耳を傾け、会員の資質と満足度の向上を図るとともに、一人でも多く新入会員を増やす努力を行う時期に来ていると考えます。

また、毎年実施している養成校へ出向いての日整業界説明会においても、更なる内容の充実を図るとともに、業界の現状や日整の意義を宣伝活動し啓蒙していかないと実施する意味がありません。日整主催の事業ではありますが、養成校所在地の各県で学校関係者と密に打ち合わせを行い、日整のイメージ向上と業界の未来に対する使命感を与えなければなりません。更には受講した学生が「卒業後はぜひ日整に入会したい」と思うような魅力ある講義を実施していくべきであると思います。時代の移り変わりや厳しい現況とともに、学生の考え方も以前とは大きく変わってきているようですので、難しいとは思いますが、地道に種を蒔いていずれ花が咲くことを期待したいところです。

また、柔道整復師の資質向上のための学術研鑽・学問を改めて見つめ直す必要があると考えます。業界唯一の学術団体である接骨医学会への入会者が現在約5,500名と、有資格者の8%程度であまりにも少なすぎます。これでは医療従事者として恥ずべきことで、日本の伝統医療として誇れることができません。接骨医学会への入会促進も日整がリーダーシップを取って啓蒙し、各県が同調していく必要があると思います。

同時に、柔道整復師卒後臨床研修についても、現在ブロックごとに開催されていますが、受講者数が年々減少傾向にあり、新卒者に対する申込者数に地域格差が見受けられます。新卒者だけでなく学生のうちから卒後研修の意義や必要性についてアナウンスを行うとともに、受講促進策の情報を共有することによって一人でも多く受講してもらい、将来の制度化に向けて、更

なる充実を図らないといけません。

柔整第3次危機といわれて久しいですが、保険者による営業妨害紛いの行き過ぎた患者照会、臨床整形外科医会の目に余るバッシング、有資格者の急増に伴う会員個々の収入減等の問題について、日整として連絡協議会を立ち上げ会議を開催し、行政、保険者、出版社に対しては文書を発出しているところでございます。また、^{なにゆえ}何故業界が過去にはあり得なかったような事態になってしまったのかということも、客観的に分析していかなければなりません。反省すべきポイントは改め、過去・現在・未来の情報収集やデータ分析力を更に高め、柔整に関するありとあらゆる情報やデータは全て日整が把握しておかなければならないということで、新たに情報戦略室も立ち上がり、戦略を練っているところです。

会員の収入が減っている厳しい状況下です。で、担当部である経理部、学術部、広報部それぞれに予算の見直しを図りながらも、それぞれに目標を達成していきたいと考えています。経理部では本当に必要な事業・会議・支出であるか細かく見直しを行い、無駄を省き更なる予算の削減を図っています。広報部では皆様に見ただけの広報を目指し、「日整広報はつらつ」を年4回発行に減らしつつも、掲載企画を見直して更にホームページを活用することで洗練された広報にブラッシュアップするべく進んでいます。学術部では各ブロックの学術大会について開催地区とスケジュールを再考し、コンパクトかつ中身の濃い学術大会を目指しています。また、富山大学寄附講座によって「手技療法が及ぼす筋肉の痛み（遅発性筋痛症）の改善と筋肉内代謝物の変化」「急性腰痛患者に対する手技療法（筋圧迫）の効果—ランダム化比較試験—」の論文が欧米の医学雑誌に投稿、掲載され高い評価をいただいているところです。なお、こういった学術部の成果は保険部と情報共有を

して有効活用すべく動いているところです。このように、それぞれの部が縦割りではなく横軸を大切にして連携を強化することで、課題に向けて既成概念や固定観念にとらわれないゼロベース思考で視点をより鋭く、視野をより広く、視座をより高く持って、最善の解決策を講じていきたいと思っています。

以前に巻頭言で述べたことがあるのですが、この業界全体が存続しているのも日整が長く地道な努力を連綿と続けてきたからこそであり、日整が柔整業界の中心であることは今も昔も変わらず確かなことです。イノベーションも大切ですが、あれもこれもと中途半端に手を出したり、奇をてらいすぎた施策を展開したりした結果、日整の推進力がぶれてしまっただけは、本来の目標に到達できなくなる恐れがあります。我わ

れの本質をご理解いただいている関係団体や関係各位、そして何よりも応援していただける国民の皆様方がたくさんいるわけです。これから国に認められた公益社団法人である日整の底力を見せる好機と考えたとき、明るい未来のロードマップを描くためにも、知恵を磨き、謙虚な姿勢で真っ直ぐに挑戦していきたいと強く思います。

日整執行部にかかる期待や責任の重さはこれまで以上であることは重々承知しているところでございます。工藤会長を大黒柱に、副会長職としての与えられた任期の最後まで職務を全うしたいと思います。将来への希望が持てる業界を構築するため、これまで以上のご理解とご協力、そして時には叱咤激励の程、よろしくお願い申し上げます。

日本の未来を担う子供たちの集い！

文部科学大臣杯争奪 第24回日整全国少年柔道大会

千葉県 念願の初優勝

文部科学大臣杯争奪 第5回日整全国少年柔道形競技会

愛知県 2度目の栄冠

後援 文部科学省・厚生労働省・東京都・(公財)講道館・(公財)日本柔道連盟・(公財)東京都柔道連盟・産経新聞社

公益社団法人日本柔道整復師会（以下、日整）は、平成27年10月12日（月・体育の日）に柔道の聖地・講道館で標記大会を開催した。少年柔道大会には全国から48チーム240名の選手が参加し熱戦を繰り広げた。決勝戦では千葉県が広島県を2対1で破り、念願の初優勝を果たした。少年柔道形競技会は全国15ブロックの代表29チームで争われ、愛知県が3年ぶりに2度目の優勝の栄冠を手にした。

日整は、公益社団法人として青少年健全育成のため全国規模で少年の柔道大会や形競技会を開催している。今回は、少年の大会を中心に企画し、会員による第39回日整全国柔道大会（記事別掲）と合同の開会式となった。

開会式で、工藤鉄男日整会長は「我われ柔道整復師の団体は、柔道の名前が付いた世界で一つしかない職業です。皆さんは、この職業に最も関係している柔道を通じて、日頃からお父さん、お母さん、学校の先生、道場の先生、友達への感謝の気持ちを忘れず、未来のために心身を鍛えてください。きょうは、お世話になっている皆さんに頑張っている姿を見せることに集中して悔いのない試合をしてください」と挨拶し、武道の大切な意義に触れた。

午前9時20分から少年形競技会の予選から決勝まで講道館7階大道場で開催。午後1時10分から少年柔道団体トーナメント試合を開催した。



礼を尽くす感謝の気持ちを！



▲工藤会長



▲稲田政務調査会長

全国から選ばれた選手たちが、闘志を胸に秘め堂々とした入場行進で闘いの火蓋が切られた。萩原正和大会副会長の開会宣言、引き続き工藤鉄男大会会長挨拶後、来賓として出席された自由民主党衆議院議員の稲田朋美政調会長は「少年大会に出場される皆さんに大切なお願いがあります。中学校に進まれると体育の授業に柔道・剣道の時間があります。武道

は一步間違えると大変な怪我に繋がります。柔道を初めてするお友達には、先生の指示をよく聞きながら皆さんがお手本となり、安全で楽しく柔道が学べるように、力となってほしいです。そして、日本の武道は単に勝つだけでなく、精神性すなわち礼を尽くす感謝の気持ちを忘れない精神を、世界に向けて発信してください」と述べられた。



▲楠崎産経新聞社広報室長

続いて挨拶に立った産経新聞社の楠崎正人広報室長は「入場行進を拝見し大会にかけるそれぞれの思いが伝わってきて本当に良い行進だなと思っています。柔道の聖地講道館で日頃の練習成果を十分に発揮してください」と激励の言葉を贈られた。来賓の紹介の後、優勝旗・優勝杯の返還が行われた。

次に各表彰の後、鮫島元成審判長より試合上の注意があり、前年度優勝の青森県代表増田彪牙選手による力強い選手宣誓が行われた。



▲選手宣誓する青森県の増田選手

甲乙つけ難い僅差の勝負

少年形競技会



標記競技会は、開会式後ただちに開始された。競技種目として、投の形（手技・腰技・足技のみ）計9本、演技は各組一回とし、取・受を一体と見て評価し、「形」の技、および「礼法」「全



体の流」を採点。Aブロック、Bブロックの予選において高い評点上位6組で優勝を目指し競い合った。各組甲乙つけ難い素晴らしい演武を披露した。



● 形競技結果

<優勝>愛知県

（取）萩田 兼市（愛知県）6年

（受）石原 涼葉（愛知県）6年

<準優勝>香川県

（取）宮武 真登（香川県）6年

（受）大西 晃洋（香川県）6年

<第3位>北海道A

（取）浅井 恵河（北海道）6年

（受）宮原 章人（北海道）6年

<第4位>静岡県

（取）渡邊 銀士（静岡県）6年

（受）大矢 仁太（静岡県）6年

優勝した愛知県チームには、工藤会長より文部科学大臣表彰および文部科学大臣杯が授与された。産経新聞の楠崎正人広報室長より表彰状が授与された。2位、3位、4位は表彰状とメダルが授与された。



〈優勝〉愛知県



〈準優勝〉香川県



〈第3位〉北海道



〈第4位〉静岡県

●優勝インタビュー

愛知県 森 正仁 監督 (談)

「昨年は予選で敗退でしたが、今年は決勝まで行き優勝でき嬉しいです。柔道教室内でサポートしていただいた、ご父兄、子供たち、指導員また、応援していただいた愛知県柔道整復師会の先生方に感謝します」

取：萩田 兼市 (愛知県) 6年 (談)

「優勝できてとても嬉しいです。これも皆さんの応援と監督のおかげです。陰で支えてくれた人たちに感謝したいです」



健康^{やわら}柔体操

形競技会・会員の柔道大会表彰式後、粕谷泰右会員（東京都）の指導により少年・大会役員・会員らが参加し健康^{やわら}柔体操が行われた。



受：石原 涼葉 (愛知県) 6年 (談)

「今回優勝できたのは、周りのサポートがあったからです。優勝して、言葉にならないくらい嬉しいです」

*柔道の「形」とは、講道館柔道の創始者である嘉納治五郎先生が考案。

いわゆる「競技柔道（試合）」が文章でいう作文なら「形」は文法に当たるとされる。技を仕掛ける「取」と技をうける「受」の2人で行う。

大会で競った「投の形」9本

手技（てわざ）

- ・浮落（うきおとし）
- ・背負投（せおいなげ）
- ・肩車（かたぐるま）

腰技（こしわざ）

- ・浮腰（うきごし）
- ・払腰（はらいごし）
- ・釣込腰（つりこみごし）

足技（あしわざ）

- ・送足払（おくりあしはらい）
- ・支釣込足（ささえつりこみあし）
- ・内股（うちまた）

お互いに感謝

少年団体トーナメント



標記大会は、千葉県が見事初優勝を飾った。昨年優勝の青森県は兵庫県に敗れ、昨年準優勝山口県、昨年3位愛知県は千葉県に敗れ、昨年3位広島県が決勝に勝ち進んだ。

● 試合経過

<第1試合場>

広島県が勝ち上がり、敢闘賞に秋田県、フェアプレー賞に奈良県が選ばれた。

<第2試合場>

神奈川県が勝ち上がり、敢闘賞に岐阜県、フェアプレー賞に大阪府が選ばれた。

<第3試合場>

兵庫県が勝ち上がり、敢闘賞に青森県、フェアプレー賞に栃木県が選ばれた。

<第4試合場>

千葉県が勝ち上がり、敢闘賞に愛知県、フェアプレー賞に宮崎県が選ばれた。

<準決勝>

準決勝は、第1・第3試合場で行われた。

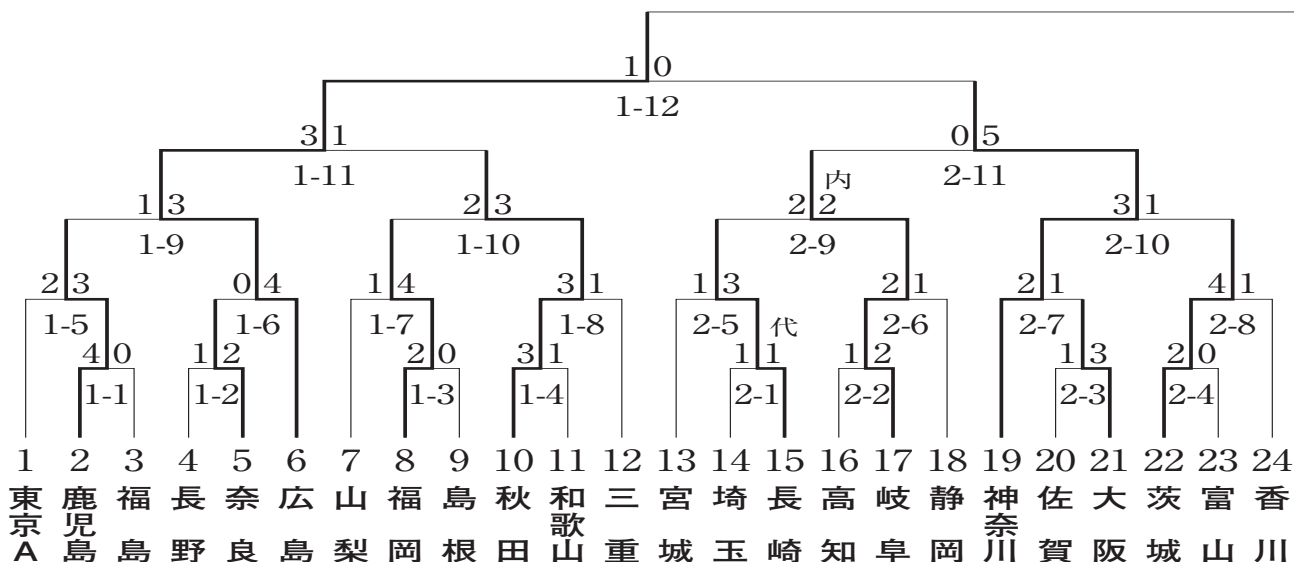
第1試合場では、広島県が1-0で神奈川県を破り決勝に進んだ。

第3試合場では、千葉県が1-1代表戦で兵庫県を破り決勝に進んだ。

<決勝>

注目の決勝戦は第一試合上で行われ、広島県対千葉県との白熱した試合となった。大歓声の中、広島県の先鋒が先制し、次鋒、中堅は千葉県が勝利。広島県の副将は勝ちを取りに果敢に攻めるも、引き分け。広島はカギとなる大将戦で攻めるも、相手も同じ体格で一步も引かず、結果引き分けに終わり、2-1で千葉県が全国の頂点に立った。試合後、お互いをたたえ合い大きな拍手が送られた。

優勝した千葉県チームには工藤会長より、文部科学大臣表彰状、文部科学大臣杯、続いて大韓杯、モンゴル国友好杯が授与され、産経新聞の楠崎正人事務局長より表彰状および産経新聞杯、工藤会長より日整会長表彰およびメダルが授与された。



●優勝チームインタビュー

千葉県 杉崎 彰彦 監督 (談)

「昨年以上の成績を目標に一戦必勝で臨みました。今年はチーム力があり、それが原動力と

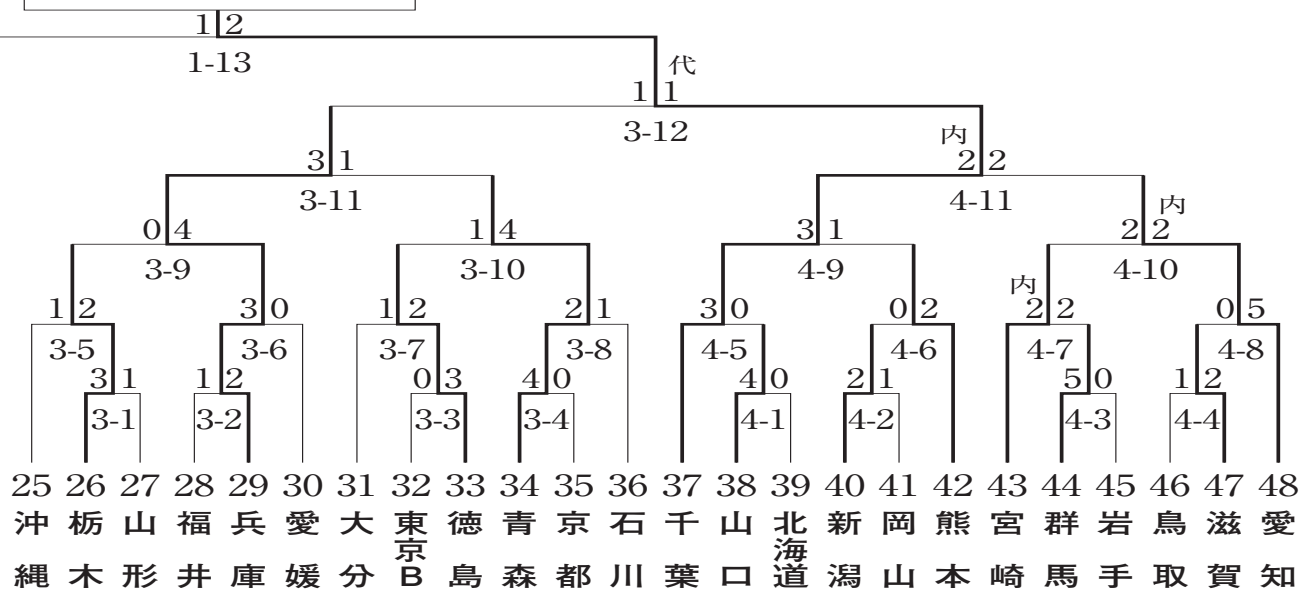


優勝 千葉県

なり良い結果となりました」

千葉県 大将 佐久間 大輔君 (談)

「チームが一丸となり、僕は大将なので一番頑張ろうと思いました」



● 日整全国少年柔道大会の結果

優 勝 千葉県

準優勝 広島県

第3位 神奈川県・兵庫県

敢闘賞 秋田県・岐阜県・青森県・愛知県

フェアプレー賞

奈良県・大阪府・栃木県・宮崎県

優秀選手賞 佐久間大輔（千葉県）
遠藤 大城（千葉県）
木原 慧登（広島県）
新井 恒太（神奈川県）
中村 乾渡（兵庫県）



▲優勝（千葉県）



▲準優勝（広島県）



▲3位（神奈川県）



▲3位（兵庫県）



▲優秀選手賞



厚生労働大臣旗争奪 第39回日整全国柔道大会

決勝は代表戦で東京が制す！

後援 文部科学省・厚生労働省・東京都・(公財)講道館・(公財)日本柔道連盟・(公財)東京都柔道連盟・産経新聞社

第39回厚生労働大臣旗争奪日整全国柔道大会は、従来の試合進行を変更し1回戦、2回戦の団体トーナメント試合を、講道館5階女子部道場・6階学校道場にて行い、準決勝・決勝を7階大道場にて開催した。全国16チームの強者が闘志を燃やし頂点を目指して戦った。



▲少年大会と合同で行われた開会式

<試合経過>

1回戦・2回戦(1-8)は、6階学校道場
近畿と北関東4-0で近畿、北信越西部と中
関東2-0で北信越西部が準決勝に勝ち上った。

1回戦・2回戦(9-16)は、5階女子部道場
北信越東部と東京1-3で東京、南関東Bと
九州3-0で南関東Bが準決勝に勝ち上がった。

<準決勝>

準決勝は、第1、第3試合場で行われた。

第1試合場では、近畿が北信越西部に2-1
で勝ち決勝に進んだ。

第3試合場では、東京が南関東Bに1-0で
勝ち決勝に進んだ。

<決勝戦>

決勝戦は、第1試合場で行われ、接戦で勝ち
進んだ両者の戦いとなった。

観客席から少年少女父兄の熱い視線を浴びる
中、決勝戦にふさわしい白熱した戦いの結果、
1-1代表戦で東京が10回目の優勝を手にした。



●日整全国柔道大会の結果

優 勝 東京

準優勝 近畿

3 位 南関東 B

北信越西部

優秀選手賞 斉藤 文教（東京）

古賀 崇裕（東京）

湊谷 知幹（近畿）

坂本 周作（南関東 B）

八本木通秋（北信越西部）

●優勝インタビュー

東京 監督 下地 秀和（七段）（談）

「昨年敗退の悔しさをバネに選手団全員で勝ち取った優勝です」

東京 大将 斉藤 文教（五段）（談）

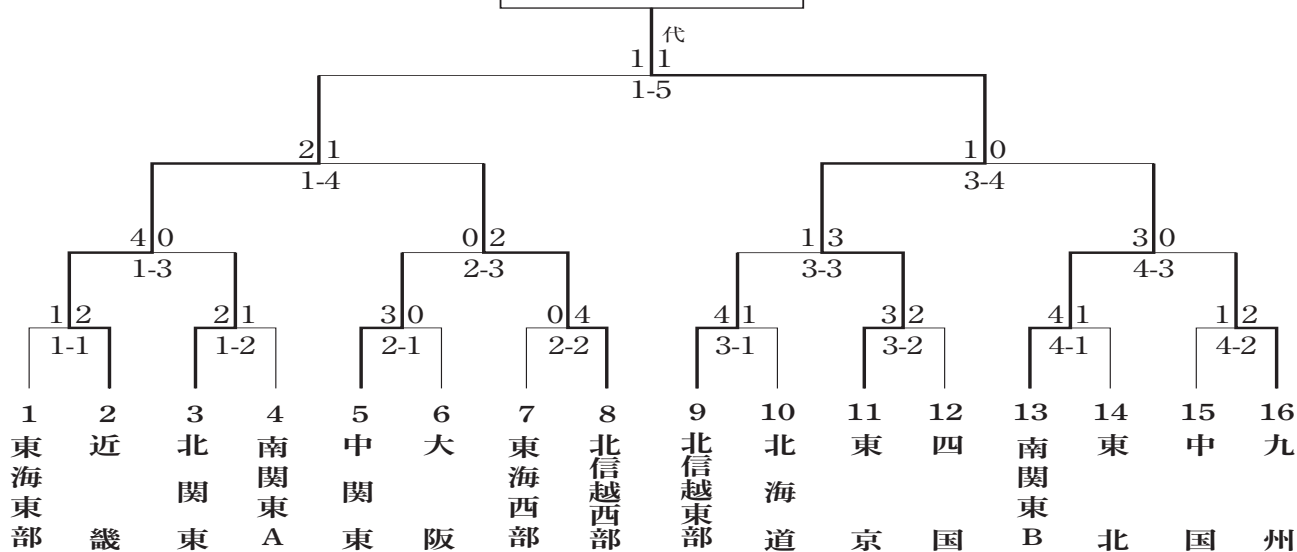
「優勝できたのは、前半の選手が頑張ってくれたおかげです。東京の夢は AB の決勝なので来年が楽しみです」



▲優勝旗・優勝杯を受け取る東京チーム



優勝 東京



※日整のホームページに日整全国少年柔道大会、日整全国少年形競技会、日整全国柔道大会の決勝戦動画や形の演武、写真スライドを配信中です。ぜひご覧ください。



▲優勝（東京）



▲準優勝（近畿）



▲3位（南関東B）



▲3位（北信越西部）



▲優秀選手賞



▲特別功労者表彰（15回）を受け取る小椋会員

●特別功労者表彰・功労者表彰

開会式で功労者表彰・出場証授与・産業別表彰・会長特別表彰が行われた。表彰者は次のとおり

- 特別功労者表彰（選手として通算15回出場）
小椋国吉（栃木県）
- 特別功労者表彰（選手として通算10回出場）
岡本雅信（千葉県）
- 功労者表彰
（選手・形演武・監督・審判として通算5回出場）
佐藤克広（北海道） 和久朋行（北海道）
大河原孝（岩手県） 佐藤昭彦（宮城県）

- 妹尾 徹（千葉県） 松本鉄雄（神奈川県）
杉本秀人（東京都） 斉藤文教（東京都）
村山洸介（長野県） 一瀬克紘（静岡県）
中山智史（岐阜県） 大矢八平（兵庫県）
玉山晋治（大阪府） 樋口真臣（大阪府）
- 出場証授与 代表して、中井孝好（三重県）
- 産業別表彰（医療接骨部門8回出場）
坂本周作（神奈川県） 岡本雅信（千葉県）
- 会長特別表彰（第6回世界形選手権大会固の形 優勝3連覇）
中山智史（岐阜県） 林 聖治（岐阜県）

●形の演武

投の形

(取) 六段 藤崎 満 (千葉県)

(受) 六段 妹尾 徹 (千葉県)



古式の形

(取) 七段 藤川 進 (群馬県)

(受) 六段 細貝 昭吾 (群馬県)



古式の形

(取) 七段 見原 道生 (宮崎県)

(受) 六段 甲斐 浩二 (宮崎県)



平成27年度学術・生涯学習講習会報告

学術部員 岩本 芳照

第23回学術・生涯学習講習会が、平成27年10月11日(日)例年どおり日整会館2階大会議場において開催された。一般公開講座および会員向け報告・連絡会となっており、都民や一般会員を含めて170人の参加者には大変好評の講習会であった。

《タイムスケジュール》

- 12:00 開会の辞 松岡保副会長
挨拶 工藤鉄男会長
- 12:10 特別講演
- 13:50 学術講習会
- 14:50 全国ボランティア活動報告
- 15:10 会員発表
- 15:30 閉会の辞 萩原正和副会長
- 15:35 学術・生涯学習報告
- 15:50 介護対策課からの連絡事項
- 16:00 終了



【特別講演】

演題：『糖尿病と糖質制限食、人類本来の食事、
人類の健康食』

講師：一般社団法人高雄病院

一般社団法人日本糖質制限医療推進協会
理事長 江部 康二先生



内容：人類の歴史から
見ると、700万年の歴史
の内699万年は狩
猟・採集時代であった。
わずか1万年前から農
耕民族となり、穀物食
(高糖質食)を食する
ようになった。日本人

も数万年の糖質制限食(狩猟・採集時代)を経て2～3千年が稲作時代である。そして、農耕の始まる前の食事では血糖値が上昇することがなかった。

つまり人類の歴史においては、穀物を主食としたのは1/700の期間であり、農耕前は人類皆糖質制限食だった。その間は虫歯率も少なく、農耕とともに上昇した。

人類の食生活 農耕の始まる前

- ◆人類の歴史は約700万年。
- ◆農耕が始まるまでは木の実・ナッツ・魚貝類・果物・野草・小動物・動物の肉・内臓・骨髄・昆虫が日常的な食料。
- ◆この頃は血糖が上昇することはほとんどなくインスリンも基礎分泌以外は基本的に働く必要もない状態。

木の実や魚貝類・肉などは糖質が少なく血糖の上昇が少ない

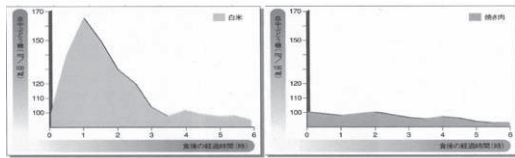


人類の血糖値の恒常性が約700万年間保たれていたが、農耕開始後1万年で変動幅が2倍となり、精製炭水化物を摂取し出した200年で3倍となった。結果、食後高血糖とインスリン追加分泌が増加した。



ブドウ糖ミニスパイク(白米と焼き肉)

鎌倉女子大学 成瀬宇平医学博士 作成

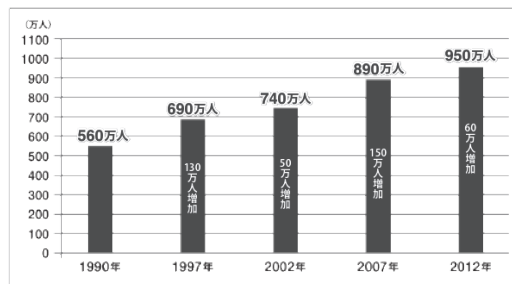


白米では血糖値の急激な上昇が見られる。1日数回糖質をとると、その度にグルコースミニスパイクがおきます。



上のグラフは白米の食後血糖値で、急激な血糖値の上昇(グルコースミニスパイク)が見られるが、右の焼肉を食べた後の血糖値では見られない。グルコースミニスパイクとインスリン追加分泌が糖尿病など生活習慣病の根本原因である。血糖値の変動が少ない生活が良い。

日本における糖尿病患者数の推移 厚生労働省調査



糖尿病、肥満の原因は？脂肪犯人説は正しいのか？1977年米国ガイドラインにより脂質摂取比率は30年間減少し、糖質摂取比率が増加して肥満は倍増した。その結果、糖尿病は2.5倍増となった。

真犯人はタンパク質・脂質ではなくて、糖質の頻回・過剰摂取の可能性が大である。

糖尿病の人とたんぱく質・脂質

- ◆肉・魚・卵・チーズ・豆腐・大豆製品などは、たんぱく質や脂質が主成分であり、糖質は少ない。
- ◆例えば和牛サーロインステーキ(脂身つき)200g(約1000kcal)を2型糖尿病の人が食べても糖質含有量は1g以下で、血糖は3mgも上昇しない。

カロリー制限食では真っ先に禁止される肉類ですが、血糖値を上昇させるのは、たんぱく質や脂質ではなく糖質なので大丈夫なんです。



一般的に実施されているカロリー制限食は、たんぱく質や脂質を制限するが、これらが血糖値を上げているのではない。

炭水化物と糖質



糖質には

- 単糖類:ブドウ糖、果糖など
- 二糖類:ショ糖、麦芽糖、乳糖など
- 多糖類:デンプン、グリコーゲンなど

糖質制限食の長期予後は良好の可能性が高い

- ・食後高血糖改善など血糖値改善
- ・平均血糖変動幅改善
- ・酸化ストレス改善
- ・HbA1c改善
- ・中性脂肪値改善
- ・HDL-C値増加
- ・肥満改善
- ・LDL-C値は不変・低下・上昇の3パターンあるが、一旦増加しても半年から1年・2年で基準値となることが多い。菜食主義者はLDL-Cが増加しやすい。
- ・現在動脈硬化リスク要因として確定の上記が全て改善

脳のエネルギーはブドウ糖とケトン体である。ケトン体の安全性はインスリン作用が保たれている限り問題ない。血糖値の安全範囲はケトン体に比べて極めて狭い。

ケトン体

- ・ケトンとはケトン基をもつ化合物のこと。
- ・β-ヒドロキシ酪酸、アセト酢酸、アセトンの3者をケトン体として総称。
- ・β-ヒドロキシ酪酸はケトン基がないので化学構造上は実はケトンではない。
- ・エネルギー源として利用されている主たるものは、β-ヒドロキシ酪酸。
- ・ケトン体は肝細胞内で「脂肪酸→β酸化→アセチルCoA→ケトン体」という順番で日常的につくられている。
- ・肝細胞自身はケトン体を利用せず、他に供給する。

糖尿病・肥満など生活習慣病には糖質制限食が最適である。糖質だけが血糖値を急激に上昇させる。

通常の糖尿病食と糖質制限食

通常の糖尿病食



糖質の割合が食事の6割を占める

糖質制限食



糖質の割合が低く、たんぱく質、脂質が主体。血糖値を上げにくい。

通常の糖尿病食は糖質が多く、食後の血糖値を急激に上昇させグルコーススパイク(食後高血糖)が起こる。

食生活十箇条 高雄病院

- 一、主食は未精製の穀物が好ましい(玄米、全粒粉のパンなど)
- 二、白パン・白砂糖など精製炭水化物の摂取は極力減らす
- 三、発酵食品(味噌、漬物、納豆など)をきちんと食べる
- 四、液体でカロリーを摂らない(飲みものは水、番茶、麦茶、等)
- 五、魚貝類はしっかり食べ、肉類は適量を摂る
- 六、季節の野菜や海藻はしっかり食べ、旬の果物も適量摂る
- 七、オリーブオイルや魚油(EPA、DHA)は積極的に摂り、リノール酸を減らす
- 八、牛乳は極力減らし、チーズやプレーンヨーグルトは適量摂る
- 九、できる限り化学合成添加物の入っていない安全な食品を選ぶ
- 十、食事は楽しく、ゆっくり、よくかんで。slow foodの要め。

* アレルギー疾患改善・生活習慣病予防に
* 日頃の運動量により、未精製穀物の摂取量を加減

激しいスポーツをしている人の場合は糖質摂取も良いし、年齢・体質・病状・嗜好に合わせたテーラーメイドの食事療法が必要となる。ただし、糖尿病には糖質制限食がベストである。

結 論

1. 生活習慣病の根本要因は精製炭水化物の頻回過剰摂取。
2. 糖質・脂質・蛋白質の内、食後高血糖・血糖変動幅増大を生じるのは糖質のみ。食後高血糖と高インスリン血症が動脈硬化や癌の元凶。
3. 糖質制限食なら食後高血糖・高インスリン血症は生じず、肥満も改善。
4. 従来の糖尿病食(カロリー制限・高糖質食)では、食後高血糖・血糖変動幅増大による酸化ストレスを防げないので、合併症予防は困難である。
5. 糖質制限食実践により、全身の代謝・血流が改善。
6. 糖質制限食は「肥満・糖尿病・生活習慣病」の治療・予防食。
7. 糖質制限食は人類進化過程700万年の本来の食事であり「人類の健康食」。
8. 70億の人類を養うにはテーラーメイドダイエットの考えが必要。

最後は、活発な質疑応答で終了した。

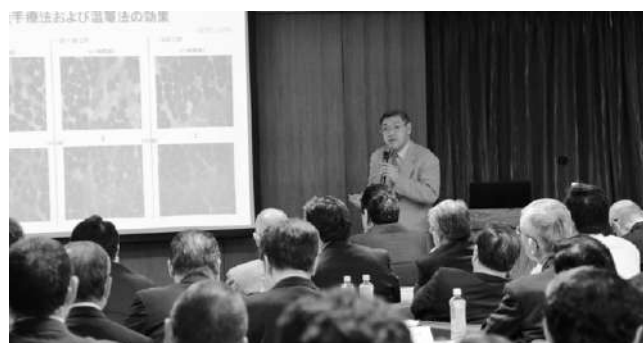
【学術講習会】寄附講座報告

富山大学大学院柔道整復学講座報告会

演題：『柔道整復師とリハビリテーション』

講師：富山大学大学院教授 西条寿夫先生

内容：まず同講座研究員である酒井重数学術部員より、富山大学大学院柔道整復学講座の研究報告および提言内容等についての概要説明があ



った。

西条先生からは、その内容について更に詳細な講演があり、柔道整復術の適正な保険取扱いの説明に役立つ、具体的な成果報告があった。

<トピック>

1. 急性腰痛に関する研究進展
2. 介護領域における柔道整復師の役割
3. 口腔機能と脳機能
4. 口腔・顎顔面領域からの求心性情報に対する脳の応答性
5. 運動リハビリテーションにおける前頭極の役割
6. 口唇閉鎖訓練の効果



急性腰痛に関する研究進展

徒手療法(柔整手技療法)の効果は？

徒手療法は亜急性期や慢性期には他の治療と比較して高い治療効果があるが、急性期の腰痛には効果があるのか？といわれてきた。以下のような評価もある。

腰痛に補完代替療法は有効か？

～日本整形外科学会腰痛診療ガイドライン～
(海外文献による評価)

Grade B (行うように推奨する)：徒手療法は、急性および慢性腰痛に対してほかの保存的治療よりも効果があるとはいえない。

Grade I (エビデンスがない)：マッサージは、他の保存的治療より効果があるとはいえない。

Grade B (行うように推奨する)：鍼治療は、ほかの保存的治療より効果があるとはいえない。

これに対する研究内容と成果として

昨年からの研究を更に進めて、論文「急性腰痛に対するトリガーポイント徒手療法の効果：

ランダム化比較試験」の発表には、世界中から大きな反響があった。

更に、遅発性筋痛に対する後療法の効果として「徒手療法はラット遅発性筋肉痛を改善し、筋代謝産物を変化させる」を発表し、徒手療法や温熱療法が回復を早めることの研究を進めている。

介護領域における柔道整復師の役割

少子高齢社会である我が国の医療や福祉の将来像を考えたとき「地域」がキーワードとなる。骨、関節、筋肉等運動器系の専門家である柔道整復師としての活躍の場は非常に大きい。

1. 非観血的（手術をしない）徒手整復により、施術（治療）を行うため、日常生活に及ぼす影響が比較的小さい。
2. 介護事業に直接携わっている。

機能訓練指導員やケアマネージャーとして活躍している者も多い。

これらからして、運動器の機能向上やQOL向上には柔道整復師が適している。

口腔機能と脳機能

口腔機能は、生命維持や日常生活の動作だけでなく、高次脳機能やQOLにも深く関わっている。現在、論文「口唇閉鎖訓練が健常女性の脳血行動態ならびに口唇機能に及ぼす影響」を発表し、更に研究を進めている。

全体のまとめ

1. これからの医療や介護の社会的インフラは「地域」がキーワードとなる。歴史的に地域密着の柔道整復師は、徒手療法により高齢者の健康増進に重要な役割を果たし、更に、機能訓練指導員やケアマネージャーとしての活躍が期待される。
2. 口腔機能は、呼吸などの生命維持、摂食・嚥下機能、および構音機能など日常生活動作に深く関わっている。特に高齢者では、これら口腔機能は、高次脳機能や社会生活を含めた生活の質全体に影響する重要な役割を果たしている機能である。
3. 口腔・顎顔面動作は、三叉神経求心性線維を介して上丘ニューロンを賦活し、上丘は更に前頭葉を含めた大脳皮質を賦活する。

口唇閉鎖訓練は、この経路により、高次機能に重要な役割を果たす前頭極を賦活すると推測される。

4. 高齢者に口唇閉鎖訓練を行った結果、脳活動促進、摂食機能改善、および覚醒・睡眠リズムの改善等などが認められた。

以上から、口腔機能のリハビリテーションは、同領域の動作を正常化することにより、脳機能を含めたQOL全般を改善すると考えられる。

柔道整復師は、国民の医療と福祉の増大に医療分野のみならず介護領域でも活躍していただくことをお願いしたい。

【全国ボランティア活動報告】

担当：中国 岡山県

演題：『ボランティア活動報告』

演者：公益社団法人岡山県柔道整復師会

難波 健会員



内容：岡山県柔道整復師会におけるボランティア救護活動として、柔道連盟の事業へ救護員を派遣している。他の救護活動としても、高原など各地に派遣している。また、ケアブ

ースとして吉備高原車椅子ふれあいロードレースでのトレーナー派遣活動や、マラソンにおけるケア活動を行っている。費用は、派遣会員に半日3,000円、一日5,000円支給している。今後も、ボランティア活動を通じて柔道整復師をアピールしていきたい。



【会員発表】

演題：『距腿関節部の不安定性に対する整復・固定法』

演者：公益社団法人岩手県柔道整復師会

佐藤 大介会員



内容：スクリーンに動画を映しながらの説明を行った後、ベッド上においてモデルを使った実技が披露された。

実技は、距腿関節部の不安定性に対して、足関節を背屈する整復手法の説明と、テーピングを使った固定法の実演だった。テーピングはキネシオテープとホワイトテープを併用しており、この整復法と固定テーピングは多くの会員によって追試されることを希望すると結んだ。



【学術・生涯学習報告】都道府県会議

『平成26年度生涯学習・ボランティア活動単位報告』

学術部部員 岩本 芳照



内容：平成26年度取得単位報告

生涯学習認定会員1,366名、高単位取得者377名、認定証該当者206名。ボランティア活動認定会員1,641名、高単位表彰者1,477

名、優良会員表彰者629名。

なお、都道府県別の会員数、氏名は日整HP「学術部」生涯学習に掲載中である。

【介護対策課からの連絡事項】

『柔道整復師と地域包括ケアシステム』

～総合事業参入への重要ポイント～

保険部 介護対策課 川口 貴弘



内容：国の方針によって、介護の必要な高齢者を在宅で看ることになっているので、医療・介護サービスの提供体制改革後の姿（サービス提供体制から）の事業に柔道整復師も

参入することが必要である。訪問型サービス、通所型サービスの両方共に参入可能なので、各地区で行動を起こすことが重要である。市町村の介護課に出掛けて、第6期介護保険事業計画はどうなっていますか、と問い合わせることから始めて、ぜひ、総合事業への参入を図っていただきたい。

三橋裕之保険部長より補足説明。



元日整会長 原 健先生を偲ぶ会



数々の業績を残す

平成27年9月26日(土)、リーガロイヤルホテル京都において、公益社団法人日本柔道整復師会と公益社団法人京都府柔道整復師会による「原健先生を偲ぶ会」が行われました。当日は、公益社団法人日本柔道整復師会の役員と各都道府県の役員、京都府柔道整復師会役員・顧問議員と関係団体役員が参集して、原健先生のご功績を讃えるとともにご逝去を悼む会となりました。

会場には「日本で生まれ育った国家資格である柔道整復Judo Therapyは2002年世界保健機関WHOで日本の伝統医療として認知されました」の大旗が掲げられていました。原先生は柔道整復術を全世界に「柔道セラピー」「柔道セラピスト」として周知させる活動にご尽力され、WHO（世界保健機関）の『伝統医療と相補・代替医療に関する報告』では、日本の伝統医療、民族医療として認知されています。

開式となり故人に黙祷を捧げたあと、偲ぶ会



委員長工藤鉄男日本柔道整復師会会長の追悼の辞の中で「原先生は、平成11年に日本柔道整復師会第15代会長として『改革、前進、斬新』の言葉を掲げられ都道府

県の社団をまとめられ、介護分野において柔道整復師が関われる事業の拡大を推進されました。また、WHOに周知されたことが現在、日本柔道整復師会がモンゴル国で活動を展開できる礎となりました。原先生のご遺志を受け継ぎ、会員一同伝統医療である柔道整復の更なる発展に努力していくことを誓います」と追悼の辞を述べられました。

京都府知事山田啓二様からは、原先生が「介護保険施行時に柔道整復師が、積極的に参加できる機能訓練業務に関するマニュアルを作成し、事業者との提携締結にご尽力され介護保険と柔

道整復師を結びつける大きな役割を果たされました」と話されました。そのほか数々の業績を讃えられ、追悼の辞とされました。

京都市長門川大作様からは「原先生は、日本柔道整復師会会長、京都府柔道整復師会会長として長年にわたり柔道整復師の進歩発展に情熱的に全力投球をされてこられました。京都市福祉協議会会長をはじめ地域福祉に携われ、徹底して地域を愛し地域を大切にされ、さまざまな功績は後世まで語り継がれることと思います。地域に根差した医療福祉介護等のために献身的なご尽力を続けられ数々の要職を歴任され、多くの功績を残され亡くなる最後の最後まで活動をされておられました」とお話しされました。

衆議院議員伊吹文明先生は、原先生とはごくばらんな付き合いをされておられ、思い出話をお聞かせくださいました。「言葉は大切ですが、人が動くのは心の触れあいです。原先生はまさに心を許しあった大先輩で、大変厳しくもあり、そして非常に優しい方でした。堂々たる人生でした」と追悼の辞を述べられました。

自由民主党幹事長の谷垣禎一先生は「原先生を思い出すたびに『精力善用 自他共栄』嘉納治五郎先生の言葉を思い出さずにはられません。柔道家としての強さと優しさに満ち溢れていました。ただひたすらに、世のため人のために生きる原先生の実直な姿勢に多くのことを学びました」と、追悼の言葉を述べられました。



出席者一同で順次哀悼の意を込めて献花が行われました。その後、偲ぶ会委員長の長尾淳彦京都府柔道整復師会会長より「日本の中からだけ見るのではなく、

世界から柔道整復師を見てもらうためのWHO。しっかりと勉強していたら堂々と自信をもって『柔道整復師』と言える」など原先生からいただいた言葉を披露するとともに「原先生の意味



を継ぐ世代として『日本で生まれて日本で育った国家資格、柔道整復師のことを、もっともっと告知しよう、広報しよう』と会を催しました。たくさんの方に来てもらい、原先生も喜ばれていると思います。ありがとうございました」と謝辞を述べられました。

衆議院議員田中英之先生より、同じ地域に住んでおられ学生時代に、原先生に施術を受けた思い出などをしていただいた後、献杯のご発声がありました。

会場では原先生との思い出話や、柔道整復業界、地域の福祉に貢献されたお話など尽きることなく和やかな空気が会場に流れていました。

閉式の辞を、偲ぶ会副委員長の萩原正和先生より、本日ご参集いただきました方々にお礼が述べられ「原健先生を偲ぶ会」は終了しました。

最後に「学ぶことをやめる時が現役を辞める時」生涯現役でした原健先生のお言葉です。

(広報員 中川稔貴)

日本伝統治療(柔道整復術)指導者育成・普及プロジェクト 活動報告

国際部

【講習内容】

- ①ドルノゴビ県講習会 ②准医師スキルアップ講習会 ③JICA一般公開セミナー
④伝統的准医師クラス講習会 ⑤オルホン県エルデネト地方講習会

日程：平成27年8月24日～9月15日

派遣者：萩原 隆（国際部長） 本間 琢英（プロジェクト・マネージャー）

根来 信也（国際部） 田澤 裕二（国際部） 金井 英樹（国際部）

横田 良介（宮城県柔道整復師会） 浪尾 敬一（香川県柔道接骨師会）

奈須 崇倫（宮崎県柔道整復師会）

指導者候補生：エンフタイワン・トゥブシンバイル、オユンバートル・ダリルチュルン、
ダシュラウダン・ボロルトゥーヤ、バトムンク・アルタンエルデネ
ムンフバートル・ボロルチメグ

JICA草の根技術協力事業（パートナー型）日本伝統治療（柔道整復術）指導者育成・普及プロジェクトとして、今回も地方とウランバートルを拠点として講義を行った。モンゴル国東部に位置するドルノゴビ県での講習会では、41名の大医師および准医師が講習会に参加した。また再受講を目的としたスキルアップ講習会ではドルノゴビ県だけでなく近隣の県から計23名が集まり実施した。ウランバートルでは国立医療科学大学付属看護大学の伝統的准医師クラスの26名に対して講義を行った。

今回も指導者候補生に講義補助ではなく講義を部分的に任せ、当日の講義の振り返りや気付いた点などをアドバイスし指導方法の向上に努めた。これはプロジェクト終了後、指導者候補生のみで講習会を開催できるような指導法の習得が目的である。また彼らが今後モンゴル国において柔道整復術を普及していくためには、定期的な講習会の実施や柔道整復術を用いた臨床

データを管理、共有できる仕組みが不可欠で、各県の准医師・大医師など医療従事者と保健所の協力体制を整えることが必要であると感じた。

その他、指導者候補生の故郷であり、プロジェクト終了後活動の拠点となりうる地方においても講義を行った。参加者35名のうち半数が、日常手術によって外傷を治療する医師であったが、徒手整復は新鮮だったようだ。また柔道整復術の特色である自己完結型という医療体系は、「遠方で通院できない」、「経済的理由」、「外傷に対する病識の違い」など、モンゴル人が持つさまざまな問題によって治療に至らない医療背景に対して、必要不可欠な技術であるとの意見もあった。

渡航最終日には、清水武則在モンゴル日本大使館特命全権大使ほかたくさんの来賓を招き活動報告会が行われた。この中でカウンターパートである国立医療科学大学バタバートル学長は「10年間の活動により柔道整復術のモンゴル国内での必要性が認知され、来年9月に柔道整復科を大学に設立する」と明言された。

また同大学アマルサイハン副学長からも「日本国同様高齢化が進むモンゴル国の社会背景の中で、手術を必要としない柔道整復術の教育が必要である」とのコメントをいただいた。

今回もTV取材を受け、後日放映された。講習会を行った県からも、再講習会開催の要望書が届き、現在までの活動により徐々に柔道整復術がモンゴルに認知されつつあることが実感できる渡航であった。



JICA 草の根技術協力事業（パートナー型）

日本伝統治療（柔道整復術）指導者育成・普及プロジェクト

2015年度 第2回指導者候補 日本研修 開講式報告

国際部

「日本伝統治療（柔道整復術）指導者育成・普及プロジェクト」2015年度第2回指導者候補日本研修開講式が、2015年10月20日（火）公益社団法人日本柔道整復師会会館において、独立行政法人国際協力機構（JICA）より2名の来賓を迎え開催された。今回の研修員は、バトムンク・アルタンエルデネ研修員（5回目）、ダシユラウダン・ボロルトゥーヤ研修員（5回目）、オユンバートル・ダリンチュルン研修員（5回目）の3名であり、本プロジェクトにおける日本研修は今回が最終となる。

JICA東京国際センターNGO連携課専任参事橋口道代様からは、本プロジェクトによる柔道整復術の普及は西洋医学だけでなく伝統医学の面からもモンゴルの人々の健康を更に増進できるものと述べられ、今回の日本研修においても実り多いものにし、モンゴルで存分に力を発揮してほしいと研修員へのお言葉をいただいた。JICA東京国際センターNGO連携課市民参加協力調整員広瀬かおり様からは、研修員への激励のお言葉とともに事業を担当する中で、柔道整復術は身一つでの技術であり、日本の誇らしい伝統技術として学んでいると述べられた。

研修員を代表し、アルタンエルデネ研修員は、指導者候補それぞれの職場で柔道整復術が普及してきており、今回も貴重な研修の機会に対して感謝し、技術を身に付けるため目標を持って励むと挨拶し、モンゴル国での活動として、肋骨骨折、上腕骨外科頸骨折、鎖骨骨折、下腿骨骨幹部骨折、膝関節脱臼、橈骨遠位端骨折の治療経験を報告した。ダリンチュルン研修員は、

スポーツ選手へのコンディショニング、保健所および病院へのテキスト配布などの活動のほか、橈骨頭骨折、上腕骨外科頸骨折、肩関節脱臼、距骨骨折などの症例を通し、変形治癒や神経障害が高頻度で発生しており、これらを課題として今回の研修に取り組むことを報告した。ボロルトゥーヤ研修員は、ドルノゴビ県での講習会で肩関節脱臼を担当し、准医師だけでなく大医師の参加が多く大変レベルの高い講義であったこと、オルホン県Erdenet Medical Central Hospitalでの講習会において実施したアンケート結果、ならびにエルデネドスポーツセンターでの活動と肩関節、腰部の疾患が今回の研修課題であることを報告した。

研修を重ねるたびに、指導者候補の研修への意気込みがより強く感じられ、モンゴル国においても活動の幅が広がってきている。今回が最終となる日本研修においても各自が目標を持って技術研鑽し、本プロジェクト終了後も指導者候補が中心となりモンゴル国における柔道整復術普及が継続して可能になることを切望する。

今回は、京都府の接骨院および埼玉県の整形外科にて約2ヶ月間の研修を予定している。



▲参加者一同

チンギスハーンの国

国際部

夢の実現に向けて

恒例のモンゴル派遣報告会が9月14日ウランバートルのラマダホテルで開かれました。来賓として、在モンゴル日本大使館特命全権大使、モンゴルJICA事務所、JICAモンゴル人材開発センター、モンゴル国立医療科学大学および看護大学の諸先生など多くの方々に出席していただきました。その席上、カウンターパートを代表して挨拶に立ったモンゴル国立医療科学大学バタバータル学長から衝撃的な言葉が発せられました。「来年はモンゴル国立医療科学大学にとって記念すべき年になります。私たちは重要な2つの事業を行います。その一つは国際基準の設備を備えた研修病院の建設がいよいよ始まること、そしてもう一つは9月に柔道整復コースを大学に設置することです」。その瞬間会場内に「オー」というどよめきが響きました。私もその発表を聞き、体から力が抜ける感じがしました。それは脱力感ではなく、久々に感じる安堵感と充実感でした。



左から清水大使、バタバータル大学長
アマルサイハン副学長、ナランバートル看護大学長

さまざまなことが頭に浮かんできました。東京都柔道整復師会の活動が発端となり始ま

ったモンゴルでの一連の事業です。当初はここまで広がりを見せるとは思っていませんでしたし、またODAから2億円近くもの支援を受けるようになるとも思ってもいませんでした。



故亀山実会員

JICAがまだ広尾にあったとき、最初から草の根技術協力パートナー型に固持する私たちに対し「それ以上おっしゃるのなら、JICAとしてもうお会いすることはできません」と担当者からキッパリ言われ、故亀山実国際部員と共に近くの喫茶店で言葉もなく何時間も呆然としていたときのことがまず頭に浮かんできました。そのJICA担当者も葬儀に参列してくださり、大粒の涙を流しながら悔しかった姿は今でも私の脳裏に張り付いたままです。この事業に命を懸けた亀山部員が「モンゴルに柔道整復科ができる」と知ったら、どんな顔をして、どんなことを言ってくれるのでしょうか。

モンゴル国立医療科学大学においては学長や副学長の交代、担当者が次々代わるなど本場にいろいろなことがありました。日本側もまた同様です。体力的にも精神的にも厳しい

モンゴル派遣に多くの会員が協力してくれました。派遣員一人ひとりの真摯な思いや献身的な行動、そして医療人としての寛容さがモンゴルの人々の心を動かししました。その基には先見性を持った日整執行部の数々の英断があり、それがあったからこそ活動が続けることができました。今思うと、これらの何一つが欠けても現在に至ることはなかったと思います。

当初から、柔道整復術がモンゴルに真に定着するには、プロジェクト活動のほかに「学科の設立」「学会の設立」「医療制度への組み入れ」が不可欠だと繰り返しさまざまな所で訴えてきました。内外の多くの人から「そんなことは絶対無理だよ」と言われました。自身でも「かなり厳しい遠い目標」と思いながらも、それを譲ってしまったら全てのものがガタガタと崩れてしまうのではないかという恐れがあり言い続けました。

学科が創設されればそれに伴い間もなく学会も創設されるでしょう。それらのことが我われの業界にとってどのような意味を持ち、どのような影響をもたらすか今は漠然としか分かりません。しかし限らない可能性を感じるのは私だけではないでしょう。

モンゴルにおける理学療法は日本の国立大学の支援を受け、数年前に看護大学に学科が創設され、現在多くの卒業生を出しています。しかしながら、理学療法は未だモンゴル医療制度の中に入ってはいません。そのことを考えると柔道整復術がモンゴルの医療制度に組み込まれるのはそう簡単なことではないことが分かります。しかし、日本柔道整復師会はその先見性と行動力、そして世界に誇る日本伝統治療である柔道整復術をもって周囲が驚くくらい、モンゴルにおいて「不可能」と思われたことを一つひとつ乗り越えてきました。今後も今までと同じスタンスで行動していけば、時間はかかるかもしれませんが「医療制度への組み入れ」も決して夢ではないと思います。一方会員にとっても柔道整復術が外国において認められ定着することは、自らの職

業意識の高揚に繋がるといいますし、また柔道整復師を目指す若い人たちにとっては大きな希望になるものと考えます。

日本の4倍の広さを持つモンゴルの地方を、互いに「旅芸人一座みたいだね」と笑いながら励まし合い、何週間にもわたり転々とし講習会を行った日々を今では愛しく思い出します。暗闇の中に目的地のかすかな明かりを見つけたときの安堵感、人生で初めてのホームシックなどさまざまな経験をしました。一方大学班では、日本式の授業を行い、知識・技術だけではなく医療人としてのあるべき姿を徹底的に教えました。それに感銘を受けた学生の中から柔道整復術の指導者を目指す者が多数出てきました。

日本では到底考えられない次から次へと起こる予定変更や、想定外の事態にも、決して怒らず、JICA研修で習った、途上国との国際交流のモットー「信じて待つ」をみんなで毅然として実践してきたことが今回の素晴らしい報告に繋がった要因の一つではないかとも思っています。私はそのことを「柔道整復師の人間力」という表現でさまざまな場所で説明してきましたし、今後もするつもりでいます。



要望書

現在、私たちの講義を受けたモンゴル各地のドクターをはじめとする医療従事者やその地域の保健所から、柔道整復術をもっと習いたい、治療に取り入れたいのもっと教えて

ほしいという要望が数々上がってきています。

これらも学長の報告と同様にとっても嬉しいことです。このように多くの人たちの協力と支援のもと実施してきたモンゴルでの事業も来年3月の最終派遣をもって一区切りを迎えることになります。重ねて全ての方々に感謝とお礼を申し上げます。

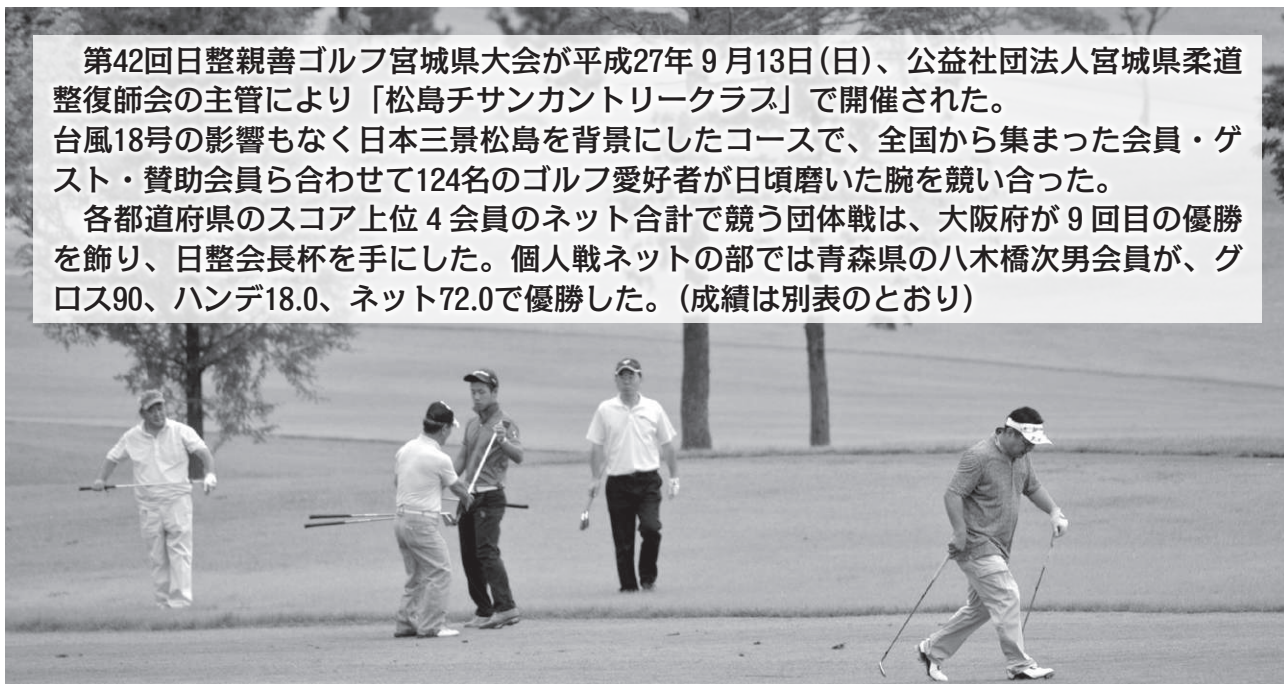
大阪が9回目の団体優勝

個人優勝は青森県の八木橋会員

第42回日整親善ゴルフ宮城県大会が平成27年9月13日(日)、公益社団法人宮城県柔道整復師会の主管により「松島チサンカントリークラブ」で開催された。

台風18号の影響もなく日本三景松島を背景にしたコースで、全国から集まった会員・ゲスト・賛助会員ら合わせて124名のゴルフ愛好者が日頃磨いた腕を競い合った。

各都道府県のスコア上位4会員のネット合計で競う団体戦は、大阪府が9回目の優勝を飾り、日整会長杯を手にした。個人戦ネットの部では青森県の八木橋次男会員が、グロス90、ハンデ18.0、ネット72.0で優勝した。(成績は別表のとおり)



<優勝インタビュー>

【団体優勝】



安田剛大阪府会長

「第42回日整親善ゴルフ宮城県大会に優勝できたこと本当に感謝します。大阪は、日整メンバーと力を合わせて、ゴルフだけでなく仕事も頑張って盛り上げていきたいと思います」

【個人優勝】



八木橋次男会員（青森県）

「今日は素晴らしいメンバーに恵まれて思いもよらぬ賞をいただくことができとても幸せです。生涯忘れられない日となるでしょう。ありがとうございました」

工藤日整会長 慈愛に満ちた挨拶

親睦を深めた前夜祭

恒例の前夜祭は、津波避難所として高台にあるホテル松島大観荘において午後6時から開催された。工藤鉄男日整会長は挨拶の中で「東日本大震災は4年と6ヶ月が過ぎましたが、復旧には長い年月を要します。日本柔道整復師会は今後も宮城県をはじめ東北の人たちの苦しみに寄り添っていきたいと思っています」と慈愛に満ちた表情で語った。



工藤日整会長



岡本日整ゴルフ愛好会長

主管県の目時誠副会長の司会進行により、松元浩二副会長の開会の辞で始まった。

本大会会長を務める岡本和久日整ゴルフ愛好会長は、主管県の役員の先生方に対して労いの言葉を掛けた後、ゴルフ愛好会の経緯に触れ、今後の大会の在り方について語った。

続いて挨拶に立った工藤日整会長は、東日本大震災の悲惨な状況を振り返った。

また、一昨日の台風18号に伴う関東・東北豪雨災害の被害に遭われた各県の状況を報告し「日本柔道整復師会は、豊嶋総務部長を中心とし逐一情報収集に努めていきます」と伝え、それぞれの県に対しお見舞いの言葉をかけた。日整の動向については、全ての柔道整復師を代表する団体として率先垂範で行動している旨を語った。次に、主管県の櫻田裕会長は



宮城県の櫻田会長（中央）

「1988年以来27年ぶり2回目の大会ということで、日整ゴルフ大会に貢献できるのかと嬉しく思っています」と、歓迎の言葉を述べた。来賓祝辞として土井亨衆議院議員、秋葉賢也衆議院議員のお言葉をいただき、(公社)青森県柔道整復師会佐藤金一会長の乾杯の発声により開宴した。歓談の中、各都道府県チームが明日への意気込みを壇上にて力強く宣言した。

また、豪雨災害で急遽災害派遣チームを立ち上げたため、出席できなくなった(公社)茨城県柔道整復師会市川善章会長の書簡を茨城県会員が代読。次回は茨城県で開催予定であることを伝えた。親睦を深めた夕食会は、松岡保日整副会長の中締めが行われ、目時司会の閉会の辞で幕を下ろした。

豪雨災害義援金を募る

例年、全ショートホールにてワンオンできなかったプレーヤーからチャリティー募金を集めていたが、今回は9月10日未明に起きた関東・東北豪雨災害で甚大な被害を被った方々のために、参加者から心のこもった義援金が集められ、日整の総務部に寄託された。



＜表彰式＞



表彰式はクラブハウスにて行われた。はじめに挨拶に立った日整ゴルフ愛好会会長の岡本和久千葉県会長は、宮城県柔道整復師会の役員および担当の方々に対し、主管として万端の準備を整えていただいたことに感謝の意を表した。そして今大会で愛好会会長を勇退し、来年は新しい会長をお願いする旨を語った。

続いて挨拶した工藤鉄男日整会長は「健康で、ゴルフを楽しみながら意見交換をして日々の治

療に役立てるような情報収集をする。またゴルフをしない人たちにも同様な恩恵を受けるようなことをした方がいいのではないか」という岡本会長の考えを示した。ゴルフ大会の在り方については「まだまだ我われが社会に貢献していかなくてはならないことがたくさんあります。この大会が公益性に該当するかどうかについては日整理事会で検討してもよいのではないか」と公益事業の趣旨に鑑みること示唆した。

次に、前回優勝の埼玉県の大河原晃副会長から岡本大会会長に優勝杯が返還された後、宮澤清和日整事務局長が「柔道整復師界の発展に向けて」と声高らかに乾杯の音頭をとった。会場はパーティーごとに席が設けられ各コースのニアピン・ドラゴン賞の発表から始まり、和気あいあいの中、待ちに待った成績が別表のとおり発表された。

最後に、公益社団法人宮城県柔道整復師会櫻田裕会長の閉会の辞で終了した。

<成績発表>

【団 体 戦】注：ネットは各都道府県上位4会員の合計

順 位	都道府県	グロス	ハンデ	ネット
優 勝	大 阪 府	346	50.4	295.6
準優勝	青 森 県	381	84.0	297.0
第3位	富 山 県	344	46.8	297.2

【個 人 戦】

順 位	氏 名	都道府県	アウト	イン	グロス	ハンデ	ネット
優 勝	八木橋次男	青 森 県	45	45	90	18.0	72.0
準優勝	徳山 晃	大 阪 府	43	41	84	12.0	72.0
第3位	笠井 清久	岡 山 県	40	42	82	9.6	72.4

【グロスの部】シニア 70歳以上

順位	氏名	都道府県	アウト	イン	グロス
優 勝	伊藤 市夫	宮 城 県	43	46	89
準優勝	野口 勇	埼 玉 県	45	45	90
第3位	西條 春雄	長 野 県	45	47	92

【グロスの部】年長 55～69歳

順 位	氏名	都道府県	アウト	イン	グロス
優 勝	山崎 一人	富 山 県	43	37	80
準優勝	井出 啓男	長 野 県	43	38	81
第3位	笠井 清久	岡 山 県	40	42	82

【グロスの部】年少 55歳以下

順 位	氏名	都道府県	アウト	イン	グロス
優 勝	枝光 幹夫	福 岡 県	41	36	77
準優勝	和田 育穂	大 阪 府	40	40	80
第3位	渡辺 敏明	新 潟 県	44	42	86

【女性の部】

順 位	氏名	都道府県
優 勝	峯村 富子	長 野 県

理事会だより

総務部

<平成27年度 第4回理事会>

開催場所 日本柔整会館2階理事会室
開催日時 平成27年7月2日(木)午後1時
～午後2時50分
理事現在数 現在数18名 定足数10名
及び定足数
出席者 理事18名中18名出席
工藤、萩原(正)、松岡、豊嶋、
佐藤、三橋、安田、森川、萩原
(隆)、市川、和田、渡辺、伊藤
(宣)、大藤、石原、原、伊藤(述)、
富永
理事外の出席者 内山監事、寺本監事
議長 工藤会長
司会 豊嶋総務部長
開会の辞 萩原副会長
閉会の辞 松岡副会長

<会議の概要>

冒頭で議長が司会進行を総務部長に依頼し会議が開始された。最初に定足数を確認し、議事録署名人は定款第39条に基づき工藤鉄男会長と内山富之、寺本欽弥両監事であることを確認した。

<議 題>

第1号議案『各部担当などについて』

総務部長より議案について説明があった。審議の結果、担当部員などについて、以下のとおり承認可決した。

総務部 及川磨(岩手県)、高橋政夫(千葉県)
経理部 竹藤敏夫(茨城県)
保険部・医療課 藤川和秀(愛知県)、荻谷満郎(神奈川県)、加藤和信(大分県)、徳山健司(大阪府)、加藤弘幸(広島県)
保険部・介護対策課 藤田正一(青森県)、川口貴弘(奈良県)
学術部 岩本芳照(兵庫県)、酒井重数(富

山県)、大河原晃(埼玉県)、長尾淳彦(京都府)

広報部 田村清(群馬県)、山田俊志(石川県)、小澤喜一(静岡県)、齊藤勝典(山形県)

国際部 根來信也(兵庫県)、田澤裕二(神奈川県)、金井英樹(埼玉県)、矢口亜希(茨城県)

情報管理室 新井宏(東京都)、林豊輝(富山県)、酒井正彦(長野県)、松村圭一郎(熊本県)、森本賀津雄(東京都)

第2号議案『顧問、相談役及び参与の委嘱について』

総務部長より議案について説明があった。審議の結果、下記のとおり承認可決した。

顧問 元厚生事務次官 石野清治先生、医学博士 信原克哉先生

医学博士 守屋秀繁先生、弁護士 志田康雄先生、弁護士 加藤興平先生

公認会計士 出塚清治先生、税理士 徳重寛之先生、茂住延壯会員、萩原正会員

相談役 反町健二郎会員、山口綱孝会員、沢田守会員、木山時雨会員

参 与 比嘉定二会員ほか63名

学術参与 高崎光雄会員ほか15名

第3号議案『内閣府立入検査の検討事項』

総務部長より議案について説明があった。審議の結果、平成27年6月15日(月)に行われた内閣府立入検査での指摘事項の対応について、内閣府のアドバイスに沿って、事務局が処理していくことを承認可決した。

第4号議案『備品貸与規程について』

総務部長より議案について説明があった。審議の結果、提案の備品貸与規程について承認可決した。なお、iPad 貸与などについても本規程に基づくことを確認した。

第5号議案『公印管理規程について』

総務部長より議案について説明があった。審議の結果、平成14年11月28日施行の公印管理規定を廃止し、電子印影に関する規定などを新た

に盛り込んだ、提案の公印管理規程について承認可決した。なお、施行日は平成27年7月2日とすることとした。

第6号議案『柔道整復保険連絡協議会設置規程について』

保険部長より議案について説明があった。審議の結果、提案どおり、柔道整復保険連絡協議会設置規程について承認可決した。なお、施行日は平成27年7月2日とすることとした。

第7号議案『業界説明会について』

総務部長より議案について説明があった。審議の結果、柔道整復師養成施設での業界説明会について、東日本は萩原正和副会長、西日本は松岡保副会長の陣頭指揮のもと実施すること、および情報管理室の新井宏会員と保険部長の三橋裕之会員を、新たに作成するDVD・リーフレット作成担当者とするのを、承認可決した。

第8号議案『ボーイスカウトジャンボリー用パンフレットについて』

総務部長より議案について説明があった。審議の結果、柔道整復・柔道整復師とは何かという趣旨で初等・中等教育用に作成された、日本語版・英語版標記パンフレットについて、提案どおり承認可決した。

第9号議案『国際部活動について』

国際部長より議案について説明があった。審議の結果、部員外の国際部活動については、必要があれば随時・臨時検討することとし、直近の北海道での活動については、提案どおり承認可決した。

〈報告事項〉

- ① 理事・監事名簿
- ② 代議員名簿
- ③ 財政健全化計画等に関する建議
- ④ 公認私的研究会の廃止届について
- ⑤ 平成27年12月までの国際部日程表（案）
- ⑥ 各部からの報告
平成27年6月8日理事会議事録
平成27年6月28日通常総会議事録
平成27年6月28日理事会議事録
「夏の生活スタイル改革」（ゆう活）について（厚労省医政局から）

＜平成27年度 第5回理事会＞

開催場所	日本柔整会館2階理事会室
開催日時	平成27年7月27日(月)午後1時～午後3時30分
理事現在数及び定足数	現在数18名 定足数10名
出席者	理事18名中18名出席 工藤、萩原（正）、松岡、豊嶋、佐藤、三橋、安田、森川、萩原（隆）、市川、和田、渡辺、伊藤（宣）、大藤、石原、原、伊藤（述）、富永
理事外の出席者	内山監事、寺本監事
議長	工藤会長
司会	豊嶋総務部長
開会の辞	松岡副会長
閉会の辞	萩原副会長

〈会議の概要〉

理事会開催前に、日整全国少年柔道大会・日整全国少年柔道形競技会・日整全国柔道大会の組み合わせ抽選を行った。

冒頭で議長が司会進行を総務部長に依頼し会議が開始された。最初に定足数を確認し、議事録署名人は定款第39条に基づき工藤鉄男会長と内山富之、寺本欽弥両監事であることを確認した。

〈議 題〉

第1号議案『公益認定等委員会事務局からの確認事項について』

総務部長より議案について説明があった。平成27年6月15日に実施された立入検査における公益認定等委員会事務局からの確認事項について内容を確認し、審議の結果、原案どおり回答することを承認可決した。

第2号議案『変更認定申請について』

総務部長より議案について説明があった。審議の結果、会館賃貸に係る収入について、これまで法人会計の雑収益として計上していたものを、平成27年6月15日の立入検査における公益認定等委員会事務局からの指摘を受けて、認識を改め、不動産賃貸事業として変更認定申請を提出することならびに変更認定申請の審査の際に変更の必要性が生じた場合で、基本的部分に

ついでの変更を伴わないときは、その対応を担当部署に一任することを承認可決した。

第3号議案『平成27年度事業計画及び収支予算の一部変更について』

総務部長より議案について説明があった。審議の結果、今般の変更認定申請に伴い一部変更となる事業計画および収支予算を承認可決した。

第4号議案『新組織体制について』

総務部長より議案について説明があった。審議の結果、新体制において理事・部員数を削減したことを受けて、個別事業の臨時的遂行のため、各事業の補完を行う目的で「臨時スタッフ」を新設すること、およびその執務決定は理事会（緊急時などは三役で決定）とすることを承認可決した。

第5号議案『日整全国少年柔道大会・日整全国少年柔道形競技会・日整全国柔道大会について』

総務部長より議案について説明があった。審議の結果、平成27年10月12日（月・体育の日）実施予定の標記大会における、①日整全国柔道大会功労表彰（15回出場1名、10回出場1名を含め全16名）の表彰、第6回世界柔道形選手権大会で優勝した2名（固の形：中山智史、林聖治（岐阜県））の表彰、全日本産業別柔道大会に8回出場した2名（坂本周作（神奈川県）・岡本雅信（千葉県））の表彰②依頼業者について③大会役員について④来賓について、原案を承認可決した。

第6号議案『平成27年全日本柔道形競技大会後援事業について』

総務部長より議案について説明があった。審議の結果、全柔連から依頼のあった大会助成金については、平成27年度予算編成どおり、昨年度同様、50万円とすることを承認可決した。

第7号議案『DJAT 体制について』

総務部長より議案について説明があった。審議の結果、DJAT の対応レベルを震度6以上（ただし、震度6未満でも被害の大きい場合は対応）とすることおよび連絡体制について改善することとする提案を承認可決した。

第8号議案『学術生涯学習講習会タイムスケジュールについて』

学術部長より議案について説明があった。審議の結果、平成27年10月11日（日）実施予定の学術生涯学習講習会について、タイムスケジュール

ルを原案どおり承認可決した。

第9号議案『学術シリーズについて』

学術部長より議案について説明があった。審議の結果、投稿がほとんどない現状を踏まえ、役員に投稿者推薦の協力をしてもらうことおよび「学術シリーズ」の在り方について、学術部・広報部を中心に検討を加えるべき旨の提案を承認可決した。

第10号議案『日本伝統治療（柔道整復術）指導者育成・普及プロジェクト におけるプロジェクトマネージャー活動実施について』

国際部長より議案について説明があった。審議の結果、8月4日閉講式および8月下旬から始まるモンゴル講師派遣の臨時スタッフについて承認可決した。

第11号議案『モンゴル講師派遣について』

国際部長より議案について説明があった。審議の結果、8月下旬から始まるモンゴル講師派遣日程などについて確認し、提案どおり承認可決した。

第12号議案『日本研修について』

国際部長より議案について説明があった。審議の結果、8月4日実施予定の閉講式についておよび10月から始まる日本研修開催地などについて確認を行い、提案どおり承認可決した。

〈報告事項〉

- ① 日整柔道形講習会について
- ② 「第23回世界スカウトジャンボリー」での柔道整復ブース開設について
- ③ 原健先生「偲ぶ会」について
- ④ 任期満了に伴う役員改選による変更届出書の提出について
- ⑤ 朝日新聞記事（けんこう処方箋 最終版）
- ⑥ 予算管理月報（5月分）
- ⑦ 経理部会報告書
- ⑧ 第1回柔道整復保険連絡協議会結果について
- ⑨ 公認私的研究会変更申請について
- ⑩ 学術大会日程について
- ⑪ 大韓武道学会・アジア伝統武道学会発表者募集について
- ⑫ 各部からの報告
保険部報告
平成26年衛生行政報告例（就業医療関係者）の概況（厚労省資料）

会務執行状況

(8月～9月)

日 整 関 係

平成27年 8 月

日付	曜日	会 議 等	出 席 者
1～2	土～日	日整柔道形講習会	工藤、豊嶋、和田、市川
4	火	全国柔道整復学校協会柔道大会 モンゴル研修生日本研修閉講式	工藤、豊嶋、和田
6	木	部長連絡会議	
12	水	広報部会	
22～23	土～日	学校協会教員研修会	工藤、萩原
23	日	大阪学術大会	工藤、松岡、豊嶋、安田
25	火	業界説明会：米田柔整専門学校 保険部会	森川、長谷川
26	水	経理部会	
29～30	土～日	四国学術大会愛媛大会	工藤、萩原、松岡、豊嶋、安田

平成27年 9 月

日付	曜日	会 議 等	出 席 者
6	日	東京学術大会	三橋
9	水	業界説明会：新宿鍼灸柔整歯科衛生専門学校	新井、金子
10	木	部長連絡会議	
11	金	業界説明会：京都仏眼医療専門学校	柴田、岡田
13	日	日整親善ゴルフ大会	工藤
16	水	業界説明会：日本柔道整復専門学校	浜口、櫻井
18	金	業界説明会：福岡医療専門学校	松岡、塩川
20	日	佐藤金一先生藍綬褒章受章祝賀会	工藤、松岡、豊嶋
24	木	業界説明会：日本柔道整復専門学校 業界説明会：大阪医専	金子、深井 安田、増井
25	金	理事会	
26	土	原健先生を偲ぶ会	
27	日	近畿学術大会京都大会	工藤、萩原、松岡、豊嶋、安田
28	月	業界説明会：中和医療専門学校	森川、藤川
29	火	業界説明会：東海医療科学専門学校	森川、長谷川
30	水	経理部会 業界説明会：朝日医療専門学校広島校 情報管理室会議	 山崎、長岡 工藤、豊嶋、木山

モンゴル派遣（～9/16）

※出席者の名前と役職を列記します

工藤……………工藤日整会長
萩原……………萩原日整副会長
松岡……………松岡日整副会長
豊嶋……………豊嶋日整総務部長
佐藤……………佐藤日整経理部長
三橋……………三橋日整保険部長
安田……………安田日整学術部長
森川……………森川日整広報部長
萩原隆……………萩原隆日整国際部長
和田……………和田日整理事
市川……………市川日整理事

木山……………木山相談役
新井……………新井情報管理室長

荻谷……………荻谷神奈川理事
浜口……………浜口東京理事
櫻井……………櫻井東京理事
金子……………金子東京理事
深井……………深井東京理事
藤川……………藤川愛知副会長
長谷川……………長谷川愛知副会長
柴田……………柴田京都副会長
岡田……………岡田京都理事
増井……………増井大阪副会長
山崎……………山崎広島県会長
長岡……………長岡広島理事
塩川……………塩川福岡副会長

周年記念式典の開催日

都道府県	式典名称	開催日・会場
(公社)石川県柔道整復師会	社団法人設立40周年記念式典	11月29日(日) ホテル金沢
(公社)富山県柔道整復師会	社団法人設立55周年記念式典	12月20日(日) ホテルグランテラス富山

平成27年度 日整主催学術大会一覧

地区	担当都道府県	学会名称	演題	開催予定日
東海	(公社)愛知県柔道整復師会	公益社団法人日本柔道整復師会 第50回東海学術大会 愛知大会	「最近のがん医療とがん対策」 愛知県がんセンター名誉総長 愛知県病院事業庁長 二村雄次 先生	12月6日(日)
九州	(公社)沖縄県柔道整復師会	公益社団法人日本柔道整復師会 第44回九州学術大会 沖縄大会	「持続的収縮筋由来と思われる 症状の解釈とその治療の考え方」 仙台徒手療法研究会 会長 倉田繁雄 先生	平成28年 3月5日(土)
関東	(公社)栃木県柔道整復師会	公益社団法人日本柔道整復師会 第38回関東学術大会 栃木大会	「ロコモティブシンドロームの新展開」 とちぎリハビリテーションセンター 所長・病院長 星野雄一 先生	平成28年 3月13日(日)

日本柔道整復師会のアンチエイジング講座

日本柔道整復師会のアンチエイジング講座がHPでご覧になれます。

平成26年3月28日から、自分らしく人生を仕上げる終活情報サイト「産経デジタル終活WEBソナエ」のアクティブライフのページに「日本柔道整復師会のアンチエイジング講座」の連載が始まりました。約3週間に一度更新されます。ぜひご覧ください。

日整ホームページ (<http://www.shadan-nissei.or.jp/>) にアクセスし、「広報関連」→「アンチエイジング講座」をクリックすることで今まで掲載された記事が表示されご覧いただけます。

「腰痛」鍛えるべきは骨盤につながる筋肉

大阪府 橋本 貫次郎

（大阪府柔道整復師会専門学校附属オージェイ整骨院）

一概に腰痛といってもその原因はいろいろです

①長時間同じ姿勢でいることによる筋肉の緊張
長時間座っていたり、立ちっぱなし、中腰など、無理な姿勢を続けると腰の筋肉が緊張して、時間の経過とともに筋肉に疲労が蓄積し、血行が悪くなり腰に痛みが発生します。

②運動不足、筋肉退化による筋力低下

腰の周りには大腰筋^{だいうきん}や大殿筋^{だいでんきん}、中殿筋^{ちゅうでんきん}の筋力が衰えると、腰痛が起りやすくなります。また、腹筋は横隔膜とともに背骨を支える働きがあるので、腹筋の筋力低下は、正しい姿勢を保ちにくくなる要因の一つとなります。更に骨盤の筋肉も姿勢を保つのに大きく関与しており、これらの筋力の低下が、大きな腰痛の要因となります。

③過剰な動きや無理な負担

過度の運動によって筋肉は疲労し、徐々に緊張を強めて腰痛を引き起こします。また、腰に無理な力が掛かるような動作を行うと、ぎっくり腰など急性の腰痛を引き起こします。

また腰痛の原因となる主な疾患には

代表的なのは、腰仙部の筋挫傷によるぎっくり腰や椎間板の一部が神経を圧迫する椎間板ヘルニアが有名です。ほかにも、過度な運動が原因となる脊椎分離症や、骨の変形などが原因となるすべり症、腰部変形性脊椎症、腰部脊柱管狭窄症、骨がスカスカになる骨粗鬆症による腰椎圧迫骨折も腰痛を引き起こします。また、内科的疾患である腎結石や尿管結石、子宮筋腫、子宮内膜症、精神科領域であるうつや自律神経失調症、心気症などの疾患でも腰痛が起こることがあります。

日常生活でできる予防法

①姿勢に気を付ける

同じ姿勢で長く立ち仕事する調理台やアイロ

ン台などは、前屈みにならないよう補助台を置くなどして自分に合った高さに調節する工夫をしましょう。また、椅子には深く座り、背骨を伸ばし、膝、足首が90度になるように高さを調節するなど、姿勢に気を配りましょう。

②腹筋と背筋を鍛える

腰痛の治療と予防のために日頃から、腹筋と背筋を鍛える運動を心掛けましょう。

そこで、当院の介護予防体操教室で使っている骨盤に繋がる腹筋・背筋を鍛えるとても良いツールをご紹介します。

このバランス「ノッテフィット」は従来のバランス・ボールより安定性が高く、転倒の危険性を軽減できます。ノッテフィットを用いた運動により、腹筋と背筋、骨盤周りの筋肉を鍛え、正しい姿勢を保ちながら体幹力を強化し、柔軟性を獲得することができます。ノッテフィットを用いた運動を以下に紹介します。

まずは骨盤の後傾と前傾です。

骨盤を後傾させると腰椎は後弯され、前傾させると前弯され、その動きに連動して上部脊椎も動き、腹筋・背筋の運動になります。

このとき、視線に注意することも大切です。後傾時はおへそを見て、前傾時は天井を見上げるとスムーズな動きができます。

※後傾・前傾ともおのの10秒数えて3セット



骨盤後傾



骨盤前傾

続いて骨盤の左右のスイングです。

椅子に座って行くと上半身ばかりが傾いて骨盤を動かす動作は難しいですが、ノッテフィットに座ると、上半身を固定させて骨盤から下をスイングさせることができます。

骨盤に繋がる筋肉の柔軟性を保つのにとても良い運動になります。

※左右ともおのの10秒数えて3セット



右スイング



左スイング



右回旋



左回旋

次は骨盤の回旋です。

骨盤の回旋運動は、椅子で行うと上部脊椎の回旋になりやすく、注意が必要ですが、ノッテフィットに座ると腰仙関節が動きやすくなり、骨盤の回旋がスムーズに行えます。

このとき、視線は下げないで正面を維持しましょう。

※左右ともおのの10秒数えて3セット



腹筋ストレッチ



背筋ストレッチ

最後は腹筋・背筋のストレッチです。

腹筋は、ノッテフィットのくぼみに腰椎を当て身体を反らします。

背筋は、ノッテフィットのくぼみにお腹を当て身体を丸くさせます。

※腹筋・背筋ともおのの10秒数えて3セット

普段から腰痛で辛い思いをされておられる方、ぜひ一度試してみてください。継続して行っていると腰痛の軽減と防止にとても効果があります。

ノッテフィットは、適度な安定性を確保した

状態での運動が可能であり、安全に腰痛体操ができます。

「腰痛」は、我われ人間が直立二足歩行で歩き始めて以来、永遠のテーマであるといわれています。

現在、腰痛がない方も、普段から腹筋、背筋、骨盤周りの筋肉を鍛え、柔軟性を保つことが健康を保つためには大切です。テレビを見ながら、本を読みながら、音楽を聴きながら継続して行っていくことが重要です。

ぜひ、一度お試しください。

本の紹介

『江戸時代の医学 名医たちの300年』

学術部 大河原 晃

『屠者（解剖人）による解剖が進むにつれ、気管が前で食道が後ろにあることが分かった。両肺の間に心臓が挟まれていた。肺は紫錦囊を懸けているようで、右肺の葉は2つで左の肺の葉は1つであった。管で気道を吹いてみると両肺が広がって、鮮沢なること蟬翼のごとくだった。心臓は肺の中間にあった。開くとそれは今まで見たことないほどの紅蓮の色が鮮やかだった』。初めて解剖に立ち会った医学生のごとく、初々しい体験的感動記を著したのは誰か。日本人最初の解剖を実施した山脇東洋である。彼は『蔵志』に、初めて解剖に立ち会ったその感動を、彩色豊かな筆致で記録している。

本書では、江戸時代の医師たちの医学革新への意欲や創意工夫のほか、どのように患者と向き合い、地域医療と関わっていたか、学問に取り組む上での障害をいかに乗り越えたのかが描き出されている。そのため曲直瀬道三や杉田玄白ら著名医だけでなく、精神病理学者としての安藤昌益や死の直前まで小児科医であった本居宣長や、風土病に取り組む無名の在村蘭方医も登場する。

医師が国民の命を守り、国民の健康な生活を確保する重要な使命を帯びていること、そのために国家試験によって一定水準までのレベルに高めて医師免許を与えるという考えや制度は、江戸時代に醸成され、幕末に制度的端緒をみせて、明治以降に確立したものであることが窺い知れる。

また本書では、尊厳死についても「天命論争」として吉益東洞派と他派との江戸時代最大の医学論争があり、その議論は現代まで結

論に至っていない。明治期初頭に導入された医制改革により、西洋医術と共に西洋医学思想が導入され、我が国の伝統的医療制度や思想は衰退したかに思われるが、現代に繋がる医学思想や医療倫理観の根本は、江戸時代に醸成された医療人としての貪欲なまでの知への追求と使命感であることが読み取ることができ、そのことが近代医学の源流としての膨大な数の医学史研究書や蘭学者の伝記が今日まで読み続けられていることの証左であろう。

本書では、江戸時代を生きた医師たちの医業と思想から、その折々の問題に対する意識や倫理観から江戸時代の医学を包括的に描かれている。このことが『江戸時代の医学—名医たちの300年』と題した所以であろう。ぜひご一読を。



著 者：青木歳幸
出版社：吉川弘文館
定 価：3,200円＋税

機関誌『日整広報はつらつ』掲載向け 「学術シリーズ」の原稿募集について

日整学術部では、柔道整復師の優れた技術を幅広く国民にも分かりやすく紹介する目的で、機関誌『日整広報はつらつ』とホームページに「学術シリーズ」を掲載しております。

論文形式にとらわれないで、一般の方々にも分かりやすい内容で、皆様が日々の施療で活用され「これは効果がある！」と思われる技術などを下記要項にてご応募ください。

記

機関誌『日整広報はつらつ』『学術シリーズ』の投稿規程

1. 投稿原稿の内容 日々活用している有効な施療方法で、早期回復の技術や疼痛の緩和方法など、患者様の訴えや日常的な問題をタイトルにさせていただいて結構です。
(『日整広報はつらつ』掲載)
 - ・原稿はA4版で横書き、ワードなどで作成する。
 - ・文字数は2,000～2,500字程度。(『日整広報はつらつ』2ページくらいを限度に)
 - ・スライド(写真)数は5枚以内(ホームページ掲載)
 - ・原稿はA4版で横書き、ワードなどで作成する。
 - ・文字数・スライド(写真)数は制限しません。
2. 投稿資格 公益社団法人日本柔道整復師会会員に限る。
3. 投稿原稿の採択 公益社団法人日本柔道整復師会学術部において決定する。
4. 送付方法 原稿およびデータを郵送またはメールにて送信ください。
5. 送付先 〒110-0007 東京都台東区上野公園16番9号
公益社団法人 日本柔道整復師会 学術部宛
電話 03-3821-3511 FAX 03-3822-2475
E-Mail Address: gakujutu@shadan-nissei.or.jp
6. 著作権 『日整広報はつらつ』に掲載された著作物の著作権は公益社団法人日本柔道整復師会に帰属する。
7. その他
ご不明な点は日整学術部までお問い合わせください。

公益社団法人日本柔道整復師会
第37回北信越学術大会 富山大会
第44回北海道学術大会 札幌大会
会員発表（ハイライト）動画配信

日整学術部では、ホームページ上におきまして全国各ブロック学術大会発表の動画を配信しています。

今回は、平成27年6月21日(日)に富山第一ホテルで開催されました北信越学術大会 富山大会と平成27年7月5日(日)に札幌コンベンションセンターで開催されました北海道学術大会札幌大会の会員発表を配信いたします。



(動画再生期間 2015年12月1日～2016年1月末)

【動画の見方】

日整ホームページ (<http://www.shadan-nissei.or.jp/>) にアクセスし、の後

学術部→学術大会会員発表動画 または

→第37回北信越学術大会 富山大会

→第44回北海道学術大会 札幌大会

をクリックすることでご覧いただけます。

ユーザー名・パスワードは日整事務局（電話 03-3821-3511）にお問い合わせください。

日整HP「学術部」からご覧いただけます

[学術部]

1. 日整主催学術大会一覧
 - ・平成27年度公益社団法人日本柔道整復師会主催学術大会一覧
2. 学術大会会員発表動画一覧
 - ・平成26年度日整主催学術大会会員発表ダイジェスト動画一覧
3. 「学術シリーズ」原稿募集
4. 図書の紹介
5. 富山大学寄附講座
 - ・富山大学寄付講座活動報告 Vol.6
 - ・富山大学寄附講座大学院修士課程入学案内
6. 論文検索システム
7. 「柔道整復学」専攻区分 ～「学士」を目指す方へ～
 - ・独立行政法人大学評価・学位授与機構について
 - ・科目等履修生制度の開設大学一覧 ほか
8. 学術・生涯学習講習会報告
9. 生涯学習単位取得報告
 - ・平成25年度生涯学習・ボランティア活動単位取得報告
 - ・要綱（生涯学習単位取得要綱／ボランティア活動単位取得要綱）
 - ・様式（平成26年度生涯学習・ボランティア活動単位取得報告書）
10. 「骨継ぎの知恵袋」アイデア募集
11. 公認私的研究会

【日整HP「学術部」へのアクセス方法】

日整ホームページ (<http://www.shadan-nissei.or.jp/>) にアクセスし、**ログイン** の後「学術部」をクリックすることでご覧いただけます。

ユーザー名・パスワードは日整事務局（電話 03-3821-3511）にお問い合わせください。

日整HP「国際部」からご覧いただけます

[国際部]

1. 学術大会における国際部活動報告

草原に架かる虹を追って—モンゴルでの記録—【動画配信】

第40回中国学術大会 広島大会 6月14日開催

第37回北信越学術大会 富山大会 6月21日開催

第44回北海道学術大会 札幌大会 7月5日開催

2. チンギスハーンの国⑨

柔道整復術を指導する講師としてモンゴル国を訪問した体験をご紹介します。

紙面に入りきらなかった写真も掲載しております。

3. 「日本伝統治療（柔道整復術）指導者育成・普及プロジェクト」報告

・モンゴル国講師派遣 活動報告（派遣期間：8月24日～9月16日）

（1）ドルノゴビ県における講習会・市民公開講座・准医師スキルアップ講習会

（2）モンゴル国立医療科学大学付属看護大学伝統的准医師クラス講習会

・第1回日本研修 報告（研修期間：6月3日～8月5日）

・第2回日本研修 開講式報告 10月20日（火）開催

4. 日本最大級の国際協力イベント グローバルフェスタ JAPAN2015写真展

「みんなで世界をHAPPYに！～しあわせづくりの現場から～」

開催日：10月3日、4日 会場：お台場

作品：「技術の伝承」、「先生、上手に包帯が巻けてるでしょ？」

本プロジェクトで撮影された写真が公的機関部門の作品として展示されました。

5. モンゴル国派遣講師募集【冬期】

モンゴル国の柔道整復術指導者候補、国立医療科学大学学生、地方医療従事者に柔道整復術を指導する講師（派遣員）を募集いたします。

・派遣日程 平成28年2月28日（日）～3月26日（土）

・派遣期間 約1週間～1ヵ月程度（相談可）

・参加資格 本プロジェクトの趣旨を理解し賛同する日整会員で柔道整復術の講義および実技指導ができること。

・募集人数 若干名（※応募者多数の際の選考はご一任願います）

・応募締切 平成27年12月10日

・応募方法 所属都道府県社団事務局を通して日整事務局に電話、FAXにてご連絡ください。

・費用 個人負担なし 日整の規定により派遣期間は費用弁償いたします。

自薦・他薦を問わず広く募集いたしますので、ご応募ください。

応募要項は、日整HP「国際部」をご覧ください。

【日整HP「国際部」へのアクセス方法】

日整ホームページ（<http://www.shadan-nissei.or.jp/>）にアクセスし、**ログイン**の後「国際部」をクリックすることでご覧いただけます。

ユーザー名・パスワードは日整事務局（電話 03-3821-3511）にお問い合わせください。

2015年日本ベテランズ国際柔道大会 (第12回日本マスターズ柔道大会)

大阪府 吉永 豊貴

平成27年9月19～20日、佐賀県嬉野市体育館において標記大会が開催され、全国・世界から472名が参加して形の部、団体戦、個人体重別級で優勝の栄冠を競い合いました。私は、役員兼選手として参加してきましたので報告いたします。

*マスターズ・ベテランズ国際柔道大会

出場資格は30歳以上です。柔道家は30歳前後を界に現役を引退し一部指導者の道に残りますが、試合の機会も少なく柔道から遠ざかるとのパターンが大方でした。しかし超高齢社会に突入し、年齢を重ねても試合をしたいとのニーズに応えるべく標記大会が開催されるようになりました。

*日本柔道整復師会所属の優勝者

- ・M4 +100kg級 松山尚浩（6段・福岡県）
- ・M8 -90kg級 吉永豊貴（6段・大阪府）



*試合観・参戦記

- ・松山選手は、全て1分以内での1本勝ち、しかも多彩な技で圧倒的な強さの優勝でした。
- ・筆者（吉永豊貴）は、現役時代は66kgで、ただ肥っただけの-90kg級での出場でした。準決勝では少し壮絶なバトルになりましたが、終わってみれば楽勝パターンでの優勝となりました。

*総括

本大会の参加者は、海外はオリンピック・世界選手権出場・入賞者も見られ、国内は、警察官、刑務官、拘置官、高校・大学等の柔道教師などの職業柔道家が多数で日本選手権、世界選手権出場・入賞者も見られますが、本大会の金メダルを目指して柔道を復活した市民柔道家も一部見られます。

私自身の柔道は、33歳から52歳まで見る・聞かざる・言わざる状態で、また56歳から60歳まで全く引退していました。フトしたことから本大会に出場するようになり、過去、無差別級、+100kg級、-100kg級、-90kg級、-81kg級と優勝しています。このように私のような土・日曜日の余暇で柔道をする全くのアマチュア柔道家でも優勝することができます。今では本大会金メダルを目標に柔道練習が楽しみとなっております。

30歳以上の柔道家の皆さん、柔道に復帰し、大会に参加しましょう（柔道評論家）。

日整フォーラム

Nissei Forum

国民のため、地域住民のため、患者さんのため公益活動をしてまいります

茨 城

関東・東北豪雨による鬼怒川の 堤防が決壊、甚大な浸水被害

—本会の会員も多数被災、救援の輪広がる—

台風18号から変わった温帯低気圧の影響で、茨城県や栃木県、宮城県で記録的な豪雨となり、茨城県の県西地域を流れる鬼怒川の水位が警戒レベルを超え、9月10日12時50分、川の堤防が決壊し常総市が大規模な洪水により甚大な浸水被害に見舞われました。浸水は東西4km、南北18kmにわたり、常総市役所など中枢機関を含め市のほぼ全域を呑み込みました。市のほとんどが浸水したことにより、本会の会員も床上浸水など多数の者が被災し、診療ができなくなる非常事態となりました。

これらの被害を受け、早速、市川善章会長を委員長に「災害等危機管理対策本部」を設置し、総務部長で被災地域の支部長でもある眞中進理事を本部長として、被災した会員の復旧支援活動に入りました。

そして、決壊から3日が経った13日、床上浸水し水が引いた4軒の施術所から支援活動が始まりました。当日は遠方の県北支部の会員をはじめ県内各地から総勢30名が集まり、自衛隊のヘリが飛び交い、災害派遣車両が行き交うなど交通規制が多い中、また冠水等で通行止めが多々ある中、迂回しながら現地に入りました。現状は、床上30cmくらい浸水したが事前に医療機器などを移動したため医療機器には被害が及ばなかった施術所2軒、床上50～80cm浸水したことにより医療機器をはじめ、施術所内が使用できない状態の施術所が2軒でした。



▲街の様子



▲会員の施術所の中

作業は、水に浸った医療機器や材料など施術所内の物を全て屋外に出し、土砂をかき出し床の清掃消毒、被災ゴミとして出せる物は会員が調達したトラックで市が指定した場所に廃棄しました。

更に、近隣住民の住宅等の屁泥、瓦礫、家財道具や駐車場などに漂流してきた草木、家庭用品など多くの漂流物の片付け、搬出などを行い



▲復旧支援活動の様子

ました。どの作業をとっても人手が必要で、災害時ボランティア活動の重要性を痛感しました。

また、同日は、市川会長をはじめ一ツ柳明、竹藤敏夫両副会長、生駒事務局長が被災地に入り、被害状況の確認や被災した会員宅を回りお見舞いと励ましの言葉を掛けられました。ある会員は、市川会長から今後の支援体制の準備や励ましの言葉をいただき、涙ながらに奮起し、診療再開に向けて頑張っていく決意を示していました。

9月20日からの4連休（シルバーウィーク）においては、本会の会員110名以上が支援活動への参加を希望していたことから、真中本部長が調整をし、20日は45名の会員を派遣することにして、天井まで浸水して水が引かず支援活動ができなかった1施術所に34名が入り大掛かりな復旧作業をいたしました。

それから、13日に支援活動をした施術所に5、6名を派遣して細かい拭き取り清掃など仕上げの作業を行いました。

このように多くの会員のご尽力により、13日と20日で、当初予定していた支援活動が終了したため、今後は日赤奉仕団および関係機関等からの要請を待つこととし、残りの3日間を待機中にしました。

常日頃から市川会長が「組織力、絆」という言葉を会員に向け発していますが、このような事態においても本会組織の指針が発揮できたのではないかと感じました。

最後に、被災会員が大変なときに、同じ会員が額に汗し泥まみれになり一生懸命支援活動をしているときに、広報部活動とはいえ写真の撮影や取材をしていたことに対し申し訳なさを感じております。

これからの、一日も早い被災地の復興を祈り、本会の災害時支援活動報告とさせていただきます。

（広報員 荒井健吉）

群馬

公益社団法人日本柔道整復師会 「第5回全国少年柔道形競技会」 出場選手選考会 代表に野口・関口組

平成27年6月23日（火）、午後8時から本会多目的ホールの柔整館群接道場で、公益社団法人日本柔道整復師会（以下、日整）第5回全国少年柔道形競技会の出場選手選考会を開催した。日整全国少年柔道形競技会は、日整全国少年柔道大会と並行して10月12日（体育の日）、東京の講道館で開催され、各県から選考された代表1組が出場して「投の形（手技・腰技・足技のみ）」を競う。今回の選考会には3組6名が出場し、木暮昌利総務部長（七段）、藤川進会員（七段）が審査を行った。

慎重な審査の結果、昨年の全国大会を経験し、4月の関口杯柔道大会でも「投の形」を披露し、落ち着いた演技を行った石井洋会員（高崎）が指導している野口慶汰・関口環組が優勝した。これから本大会まで、更に技に磨きをかけ、全国大会に臨む。



平成27年度第1回生涯学習講習会 一般公開講座 「見てみよう、膝の手術！」 — 靱帯再建術および半月板縫合術— 再建術・縫合術を学ぶ

本会は平成27年7月12日(日)、群馬県農協ビルで標記講習会を開催した。第1部は、学術部による発表「骨折の臨床例」3題、特別講演は、一般公開講座「見てみよう、膝の手術！」と題して、NPO



▲講演する磐田先生

法人腰痛・膝痛チーム医療研究所・石井病院整形外科医師の磐田振一郎先生が講演。13人の一般聴講者と共に前十字靱帯と半月板の損傷、手術の実際まで多くを学んだ。講演後には実際の手術法に基づいて人体(骨型)模型を使ったデモンストレーションが行われ理解を深めた。

膝の靱帯の役割

骨と骨のぐらつきを止めるのが靱帯です。前方から見て横方向は内側側副靱帯と外側側副靱帯で、側方からは前十字靱帯と後十字靱帯で前後の不安定性を止めます。前十字靱帯にはもう一つ、骨と骨のねじれを抑える大事な役割があります。

前十字靱帯の損傷

ラグビーなどによる接触とジャンプの着地など接触が直接の原因ではないものの二つがあります。男女別では、やや男子の受傷が多く、スキーやバスケットボール、サッカーの順で受傷発生率が高いです。つま先が外を向いた状態で膝が内側に入ると受傷しやすくなります。

主な症状は受傷後から初期には痛みや腫脹、関節内血腫、可動域制限が見られ、1ヶ月後以降では膝くずれや脱臼感に変わります。

手術の適応

画像所見で靱帯の断裂が確定したら全例手術の適応ですが、患者さんの自覚症状が乏しかったり、若年者(骨端線閉鎖前)や高齢者(骨が弱い・変形がひどい)など、その条件によりドクターの判断が異なるため例外もあります。

手術の手順

4つの行程になります。

- ①自家腱を採取します(薄筋腱・半腱様筋腱)
- ②大腿骨と脛骨に骨孔を作成
- ③移植腱の引き込み
- ④移植腱の固定

半月板の役割

膝の内側と外側にあり、荷重伝達や衝撃吸収などクッションの役割をしています。

半月板の損傷

幼児(円板状半月の可能性)、若年者(ケガなどのきっかけがはっきりしている)、中高齢者(半月板の加齢による変性が発端の可能性)の3つのパターンがあります。

主な症状は、受傷時には痛みや腫脹、関節内血腫、ロッキング(伸展障害)、受傷後しばらくして痛みや腫脹に加えて可動域制限(特に伸展障害)、脱臼感が出てきます。

手術は切除(部分)か縫合かを損傷部位・損傷形態によって決定します。縫合しても血の巡りがあるところでないといくつきません。

※半月板の血流と局所循環

半月板では、外側部分は血管が近くにあり縫合が可能です。内側部分は血流に乏しく縫合は困難です。



▲半月板手術のデモンストレーション

(広報員 永井 毅)

千葉

第6回千葉県柔道整復師会杯争奪 千葉県少年柔道大会

(第24回日整全国少年柔道大会千葉県大会)
(第5回日整全国少年柔道形競技会千葉県競技会)

ここ数年来の記録的な暑さの夏が、今年も更に厳しさを増す中、平成27年7月19日(日)、千葉県総合スポーツセンター武道館において48団体延べ400名の少年少女が集い、標記の大会が本会の公益事業として開催されました。

【会長挨拶】

高橋副会長の開会宣言の後、岡本会長は「あきらめないで最後まで頑張ることが、日頃お世話になっているご両親や先生に対して、感謝の気持ちで応えることとなります、毎日の稽古の成果を十分に発揮し、怪我をしないように頑張ってください」と挨拶されました。

続いて来賓祝辞、男女の優勝杯返還があったあと、森澤審判長から分かりやすい試合上の注意がありました。



▲形競技出場選手



▲全国大会出場選手

【力強い選手宣誓そして熱戦】

次に明心館関本道場の後藤颯太選手が、名前のとおり颯爽とした選手宣誓、そしていよいよ試合が開始、観客席の市民や選手の家族からの熱い声援の中、勝利して満面の笑みで応える選手、負けて悔し涙を流す選手、悲喜こもごもの熱戦が展開、各部の順位および全国大会の代表選手が決定しました。

形競技会では日頃の稽古を十分に発揮し、大人顔負けの素晴らしい演武を披露、全国競技会の代表選手が決定しました。

時田大会委員長の講評があった後、木村副会長は閉会宣言で、選手の頑張る姿に感動したこと、そして大会に携わった役員、道場関係者、お手伝いしてくれた高校生の皆さんへのねぎらいの言葉があり、数名の軽度の負傷はありましたが、本会の救護員の先生が日常の業務を生かし適切に処置を施しておりました。そして熱中症や重篤な負傷者もなく大会は無事終了しました。

表彰者

団体戦男子の部

優勝 明心館関本道場

団体戦女子の部

優勝 下志津柔道クラブ

形競技会

優勝 流山柔道会

取) 大鷲泰生 受) 宗像莉蘭

個人戦四年生の部

優勝 川端倅明 (中山柔道会)

個人戦五年生の部

優勝 遠藤大城 (明心館関本道場)

準優勝 三崎大和

(我孫子市警察署少年柔道クラブ)

個人戦六年生の部

優勝 藤田 大 (紅柔道少年団)

準優勝 佐久間大輔 (鴨川柔道クラブ)

*平成27年10月12日(月・体育の日)講道館で行われる第24回日整全国少年柔道大会には各学年の優勝者と5年生・6年生の準優勝者が代表選手として出場します。

第5回日整全国少年柔道形競技会には形競技会優勝者が代表選手として出場します。

第36回九都県市合同防災訓練

平成27年 8月29日(土)、千葉県・埼玉県・神奈川県・東京都・千葉市・さいたま市・川崎市・相模原市・横浜市の合同による毎年恒例の訓練が、本県の会場・佐倉城址公園の自由広場で開催されました。

【訓練想定】

今回の訓練は、大規模な地震の発生に備え、「自助」「共助」「公助」による地域が一体化となった防災力の向上を目指し、千葉県、佐倉市および各防災関係機関連携のもと、災害対応能力を高めることを目的として、震源を佐倉市直下、深さ10km、マグニチュード7.0、発生時間を午前8時とした想定で訓練を行いました。

【訓練内容】

訓練内容は、救出救助訓練、上空からの情報収集訓練、自衛隊による情報収集(リペリング降下)、地上からの情報収集訓練、警察・消防・自衛隊による救出救助訓練、警察・消防によるホイスト救助訓練、ライフラインの応急復旧作業訓練、救助物資搬送等訓練が行われました。

【本会会員の訓練】

本会北総支部の奥山大作・横田茂樹・中山博

之・藤原周平・池田寿士の各会員は応急救護所訓練において、千葉県医師会・印旛市郡医師会・千葉県歯科医師会・印旛郡市歯科医師会・千葉県看護協会・千葉県薬剤師会と共に、トリアージおよび、中等症・軽症の負傷者に対する応急処置を、日常の施術業務を生かし適切かつ敏速に対応しておりました。

今回は担当エリアを統括するドクターが救急医療のエキスパートで、実際の訓練前後に、看護師や我われに対してトリアージや救護のポイントを、とても分かりやすく解説・指導していただけたので非常に勉強になりました。

【ブラインド化訓練】

なお、本年度は被災者の救出、搬送訓練において、救出者に対し被災者の位置や数を明らかにしない「ブラインド化」を初めて行うことにより、現場対応能力の強化を図ること、また災害における「自助」「共助」に必要な知識、技能等を向上させるため、住民が体験する訓練に重点を置きました。

そのための住民を啓蒙する防災マニュアル(写真参照)、も配布されておりました。

【柔道整復師をアピールするために】

本年も台風や異常気象による集中豪雨での河川の決壊、火山の噴火等、自然災害が多発している中、大規模災害時における地域貢献に尽力するため、こういった行事に、より多くの会員が参加して経験値を積むと同時に、救護に関しての更なるスキルアップが必要と考えました。

(広報員 渡辺 勇)

石 川

草刈奉仕活動

爽やかに晴れ渡った天候の中、標記活動が平成27年 8月23日(日)、午前6時から野々市市社会福祉法人「サニーメイト」にて行われた。本会の会員、家族、施設職員30名が参加し、はじめに正木明石川サニーメイト理事長と西川典孝金沢南支部長の挨拶後、施設職員から作業手順や刈り取った草を堆肥に再利用するための集積場所などの説明があり、それぞれが鎌や草刈り機を手にして作業開始となった。金沢南支部の会員だけではなく金沢北支部、能登支部、加賀





▲集合写真

支部といった遠方の会員も参加し、タオルで汗を拭い、中腰が続く作業の合間には腰を伸ばしながらの作業となった。

今年で16年目となる草刈り活動だが「チャレンジ・マイハート」奉仕の心で施設の方々の交流を深め合うことができ、笑顔があふれる和気あいあいとした雰囲気の中で進められた活動となった。

平成27年度石川県防災総合訓練

平成27年9月6日(日)、内灘町内を中心に行われ、91機関約2,800人が参加し東日本大震災・広島市土砂災害を教訓に避難誘導や救助活動に取り組んだ。

県西方沖を震源とするマグニチュード7.8と大雨による土砂災害を想定し行われたが、訓練開始時に大雨となり、実際に県西方沖でマグニチュード4.2の地震が発生し緊張する事態となって想定に近い状況での訓練となった。

本会は河北郡内灘町立西荒屋小学校体育館で9名の会員が参加し、本会赤十字奉仕団が救護所を設置した。災害が発生した際の負傷者に対する固定・処置を、比較的手に入りやすい日用品を使用し、あらゆる外傷を想定し訓練を行った。一般の参加者から小さな子供を連れた親子やお年寄りにモデルになってもらい、ペットボトルや新聞紙・雑誌、買い物袋・ダンボール等を使用し応急処置を体験してもらった。訓練本部長の谷本正憲県知事が視察に訪れた際には、金田豊茂金沢北分団長が県知事に救護活動訓練の説明をし、本会の救護活動に大変興味を示され質問や感想を述べられていた。

我われは日赤奉仕団として毎年県防災総合訓練に参加し能登半島地震・東日本大震災での活

動経験を生かし、緊急時の対応を住民の皆さんに体験していただき、災害での応急処置知識を持ってもらうことを目的として参加協力している。なお当日は県内各所で災害訓練が行われ、本会は救護ブースを各支部にて対応し訓練に参加した。

(広報員 佐藤裕之)

滋 賀

第6回近畿少年柔道大会・ 第41回近畿ブロック柔道大会

連日、各所で真夏日を記録する中、標記の大会が平成27年7月26日(日)、大津市の滋賀県立武道館柔道場において本県の主管で開催されました。

午前中に少年柔道大会が行われ、近畿ブロックの1府4県、小学4年生から6年生までの60名の選手たちが、各府県の代表としての自信と誇りを持って全力で試合に挑み、熱戦を繰り広げてくれました。その結果、果敢な攻めで強敵選手を制し、4年生の部では、滝本稟夏選手(和歌山・正木道場)、5年生の部では、顕徳海利選手(兵庫・神戸少年柔道蟻クラブ)、6年生の部では、山本彩樺選手(兵庫・広畑柔道教室)がそれぞれ優勝しました。

滋賀県勢も、4年生の部で南橋雪菜選手(浅井柔道スポーツ少年団)が準優勝、更には5年生の部で増田耀馨選手(高月柔道スポーツ少年団)が第3位と健闘してくれました。試合後、南橋雪菜選手は「近畿大会に出場したのは初めてで、最初は少し緊張したけれど、すぐに落ち着いて普段通りの試合ができて良かった。来年はもっと良い成績を残したい」と力強く話してくれました。今大会での経験を糧に、今後も更なる活躍をしていただけるものと願っています。

午後からは、第41回近畿ブロック柔道大会が開催され、総勢46名の選手が参加の下、前半の部では紅白試合が、後半の部では第39回日整全国柔道大会代表の予選を兼ねた年齢別選手権試合が行われました。この日は、試合に先立ち出場回数表彰授与式が執り行われ、35回出場表彰を中村古選手(兵庫県)、田房豊彦選手(奈良県)、



▲滋賀県選手団



▲近畿ブロック代表選手

30回出場表彰を大矢平八選手（兵庫県）、10回出場表彰を本県の橋爪宏治選手、他4名の選手に授与しました。

紅白試合には、本県から7名の選手が出場し、梅田周司選手、真下盛吉選手がそれぞれ勝利を収められ、優秀選手賞を受賞されました。また、年齢別選手権試合では全国大会への出場を懸けた対戦となり、各年代とも闘志あふれる白熱した試合が繰り広げられ、滋賀県勢は50歳代で伊藤勉選手が優勝されたとともに、40歳代では久西睦人選手と橋爪宏治選手が第3位入賞と健闘しました。

なお、日整全国柔道大会の代表選手は、20歳代：ガンバートルフデレムンフ選手（京都府）30歳代：磯田和伸選手（兵庫県）・平野大亮選手（奈良県）40歳代：湊谷知幹選手（京都府）50歳代：川口雅也選手（兵庫県）にそれぞれ決まりました。

（広報員 岡田博之）

奈良

第24回文部科学大臣杯争奪 全国日整少年柔道大会奈良県予選・ 第5回全国日整少年柔道形競技会 奈良県予選

平成27年6月21日（日）、奈良市中央第二武道場にて標記の予選が開催された。今年度は17道場、総勢181名の少年少女が参加し、全国大会への切符を争い白熱した戦いを繰り広げた。当日は早朝から記録的な大豪雨に見舞われ大会の開催自体危ぶまれる声もあった。しかし、8時30分の開場の際には雨も上がり、多くの子供たちが来場する様子に大会関係者も胸をなでおろした。雨上りの高湿度と子供たちの熱気とでむせ返すような場内であっても、選手たちの威勢の良い掛け声とともに場内も盛り上がりを見せた。

開会式で本会会長川口より選手に檄が飛ばされ、直後に行われた形競技では各道場とも洗練された、道場関係者も舌を巻くような見事な演技が行われた。形競技に引き続き行われた試合では、元気よくはつらつとした姿で試合をする低学年の選手、真剣な眼差しで試合に臨む高学年個人戦の選手たち、各会場でさまざまな表情を見せる少年少女に大会運営する本会会員もエネルギーを得ることとなった。奈良県は過去に複数回の全国優勝の実績を持つ強豪県であることから選手はもとより、指導者・保護者の声援もより熱を運び更に大会を盛り上げた。

奈良県予選はKCN（近鉄ケーブルテレビネットワーク）の協力を得て、大会の模様を完全中継にて放送される。今年も解説者に奈良市柔道協会会長、講道館柔道八段の菱田肇先生をお招きして試合の様子が中継され、7月24日午後4時から放送された。ケーブルテレビでの放送





は今回で8回目となり、当日来場できなかった保護者・関係者などに子供たちの雄姿を見ていただける機会としても喜ばれている。また、本会よりその他の報道機関への取材依頼を行っていることが実を結んだのか、更に今年度はKCNに加え奈良テレビ放送ならびに産経新聞社からも取材の申し込みがあった。奈良テレビ放送では大会当日の夕方6時からのニュースで大会の様子が取り上げられ、産経新聞においても翌日の朝刊に写真付きで報じられることとなった。

このように本会の運営する行事が広く公に報じられることは、本会の公益事業を知っていただけの良い機会であるので、今後もこれまで以上に各報道機関への取材依頼などの活動も並行していきたい。また、今大会が奈良県下のテレビ局・新聞社などで取り上げられたことを起点として、大会に参加された選手はもとより、不参加となった選手や柔道を志す多くの子供たちにとって良い刺激を与え、これまで以上に柔道に邁進してくれることを願う。更に、マスコミでの報道・本会からの周知をきっかけに、県下全ての道場の少年少女が参加する大会になることを期待する。

(広報員 田原 亮)

兵 庫

第31回兵庫県 柔道整復師会少年柔道大会

平成27年7月5日(日)、グリーンアリーナ神戸において標記大会が開催され、県内各地から低学年の部46チーム、高学年の部57チームが参加し熱戦を繰り広げた。

開会式では大矢八平柔道部長の開会宣言に始

まり、萩原隆会長の挨拶、ご来賓の方々よりご祝辞と激励のお言葉をいただいた後、二見少年柔道クラブの浮田笑子選手による力強い選手宣誓が行われた。

日整全国少年柔道大会への出場権を懸けた本大会は白熱した試合の連続で、選手はもちろんのこと観客席からもご父兄の方々の熱の込められた応援が響いていた。試合に勝ったときの笑顔、負けたときの悔しそうな表情の全てが印象に残った大会であった。

【結果】

高学年の部

優 勝 二見少年柔道クラブ

低学年の部

優 勝 広畑柔道教室

高学年の部の上位チームと各地区からの推薦選手による、日整全国少年柔道大会出場選手の選抜試合を行った。

【日整全国少年柔道大会出場選手】

先鋒 福田 大和 (二見少年柔道クラブ)
次鋒 中村 乾渡 (二見少年柔道クラブ)
中堅 村瀬 浩樹 (二見少年柔道クラブ)
副将 山本 悠祥 (二見少年柔道クラブ)
大将 所谷 一平 (龍野若竹会)



10月の全国大会に臨む代表選手には選抜試合で敗れた選手の思いも胸に、少しでも上位に進めるように頑張っていたきたい。

居宅等における 医療の提供に関する事業

一柔道整復術を実施するための研修一

平成27年9月13日(日)、公益社団法人兵庫県柔道整復師会館において標記研修会が開催された。

本研修会は、急速に進展する高齢化に対応するため、昨年6月に成立した医療介護総合確保推進法に基づき都道府県に創設された「地域医療介護総合確保基金」を活用した補助事業として、2回に分けて行われる。

1回目の講習は、第1部に講師として地域包括支援センターのセンター長と主任ケアマネジャーをお招きし「地域包括ケアシステム構築へ向けた取組み」と「在宅で療養する者に柔道整復術を実施することに関するディスカッション」のテーマで、地域包括ケアシステムの概要と、講師と共に柔道整復師が何をするべきかをディスカッション形式で実施した。

第2部では理学療法士から観た在宅医療の現場をテーマに、在宅医療に従事しておられる理学療法士の先生から「在宅で療養する疾患を有する者に対して必要な評価とアセスメント」と「国際生活機能分類に基づく在宅でのアプローチ」について講義を行っていただいた。

2回目の研修は10月18日(日)に行われる。講師に看護師、医師をお招きし「訪問介護の対象者、ケアの実際、記録について」「他職種連携について」「在宅で療養するリスク管理および在宅訪問の基礎知識」「疾患別の注意点および対応について」等の演題で在宅医療における実務面について講義していただく予定である。

本研修会は、日整会員以外の兵庫県下の柔道整復師を中心に参加を呼び掛け「地域包括ケア

システムの中でいかに柔道整復術を活用していくのか」をテーマに掲げ開催された。

また在宅医療の分野に柔道整復師が進出していこうという取り組みは、日整の中でも兵庫県が初めてであり画期的な試みではないだろうか。

午前9時30分から午後5時までという長時間の研修会にも関わらず多数の出席者があったことに、地域包括ケアシステムへの関心が高まっているように感じた。

各地域で地域包括ケアシステムについての動きが進んでいく中で、多種多様なニーズが生まれてくる。それに応えていくためにも我われは地域の実情を把握し、何を求められているのかさまざまな情報を得ていかねばならない。そのために我われは何をすればよいのかということに役立てくれる有意義な研修会であった。



(広報員 根来信也)

グローバルフェスタJAPAN2015 写真展に出展



技術の伝承：hand to hand



先生、上手に包帯が巻けてるでしょ？

「ワン・ワールド・フェスティバル2016」開催のお知らせ

開催日：平成28年2月6日(土)、7日(日)

会場：関テレ扇町スクエア・北区民センター・扇町公園

アクセス：大阪市営地下鉄堺筋線扇町駅直結・JR環状線天満駅徒歩3分

入場
無料

事務局紹介

現在、日整事務局は、宮澤局長を中心に10名のスタッフで、業務を行っております。
16,500名を超える、社団会員の皆様に、今必要としている重要な情報を素早く配信できますよう、全国社団事務局との連絡を密にとってまいりますので、今後ともどうぞ、よろしくお願い申し上げます。



前列、左から、大内美希、迫田光基、宮澤清和、大場千栄、福王秀子
後列、高橋真之助、吉沼直樹、杉浦正行、大和田昌宏、高橋啓輔の各職員です。

日 整 文 芸

(作品は1人3首〈句〉までといたします)

【短 歌】

福岡県 山下 智章

金色の羽を広げし鳳凰は
天空を舞い故郷を愛す
八雲立つ出雲の北の隠岐の島
歌聖を慕う歌会ありぬ
隠岐の島風優しく吹きにけり
上皇捧ぐ短歌を乗せて

【俳 句】

群馬県 鈴木 乗風

秋の風

書肆を出て靴紐ゆるき秋の暮
かなかなや旅の駅弁二つ買ひ
御巢鷹の墓標傾げり秋の風

東京都 伊藤 正信

朝顔の垣根の隣どうしかな
天界に山下清鰯雲
笠智衆左卜全枯蟪蛄

長野県 根橋 平八

播鉢や美しきかな蟻地獄
秋香る豆腐汁かな床にあり
秋雨や松茸ときぞ友はなし

秋の水

福井県 田上 滋良

水澄みて鯉は模様をさらに濃く
川面からバイカモの浮く秋の水
日の光射して湖底の水澄みて

【川 柳】

北海道 阿部 篤夫

昼下り友から届く黒ナンバン
いただいたスイカスカ／＼あゝ残念
トウキビや実の色ハーフ黒と黄

石川県 東 勝一

一滴水の威力知らされて
災害は忘れなくともやってくる
人間は学びて知るは結果から

〈一般投稿〉

【短 歌】

奈良県 長谷川 治三郎

命

星くずの 夏の夜空を 仰ぎみて
熱射忘るる 夜半の憩い
久方に 初夏の野里 探索や
尊き四季に 野山に憩う
一人して 朝もやの中 山ゆりの
すがしき姿 心つつむる

「日整文芸欄では一般の方々からの投稿を募集しております」

広 報 部

日整文芸は、会員の方に加え、一般の方々からも「短歌」「俳句」「川柳」を募集します。一般の方の投稿は、日本柔道整復師会会員を通じて、都道府県名、紹介会員名および連絡先、作品提出者名を明記の上、ご応募してください。

日整文芸を通じて読者の皆様とよい交流の場となればと願っております。

作品は会員と同じく1人3首〈句〉までといたします。多くのご応募をお待ちしております。

宛 先 〒110-0007 東京都台東区上野公園16番9号
公益社団法人 日本柔道整復師会広報部
TEL : 03-3821-3511 FAX : 03-3822-2475
E-mail : kouhou@shadan-nissei.or.jp

編集後記

■全身もみほぐし初回20%OFF…。近年増加しているリラクゼーション店を思わせる販促ポスターには、専任弁護士による交通事故治療支援制度あり…と、意味不明な文字が並ぶ。そして視線の下には×××接骨院とある。無法な看板広告やチラシに目を疑います。

我われの施術所の宣伝に関しては、柔道整復師法第24条「広告の制限」の条項にて厳しく制限されており、その内容は、柔道整復師の技能や施術方法等にわたってはいけなはず。まして本来の業務から逸脱したリラクゼーションを前面に公示したり、実在しない支援制度？を設けるなど、モラルの低い一部柔道整復師の行為が、業界の根幹である受領委任払制度を揺るがす事態に発展するとしたら、さすがに黙ってられない。

(守可和)

■「災害は、忘れたころにやってくる」言い古された言葉である。

9月の関東・東北豪雨で茨城、栃木、千葉各県で会員が被害を受けた。災害は注意していても突然襲ってくる。行政側の「想定外」と言う言葉がむなしく響く。阪神・淡路、東日本大震災、広島水害と近年は「忘れなくともやってくる」。そして繰り返される責任ある者の「想定外」。自分は大丈夫だと安心せずに常に災害に克つ用意を怠るまい。日常診療でも「想定外」はいつ起こるかわからない。施術者としての心掛けは同じだろう。

(晴天雀)

■今年も、日整全国少年柔道大会・形競技会・日整全国柔道大会のビデオと写真撮影をさせていただきました。開会式の選手宣誓で柔道を教えてくださった先生方やお世話して下さった家族に感謝の言葉が述べられましたが、柔道を通じて心身の育成がなされているのだと感じました。本大会では子供と大人が大道場でいっぱいになって、一緒に健康柔^{やわら}体操をしたのも印象的でした。広報誌では掲載しきれない大会の

模様を日整のホームページで動画やスライド写真で配信中です。ぜひ関係者の皆様にお知らせくださり、多くの方々にご覧になっていただければ幸いです。

(家真舵)

■日整最大のイベントともいえる、第24回日整全国少年柔道大会および第5回形競技会が開催され、今年も全国から柔道をこよなく愛する精鋭たちが講道館に集結し素晴らしい技・演武を披露した。毎年感じることだが、これが小学生かと思えるような身体つきの選手が増えたように感じた。少子高齢化の声が聞こえる昨今、講道館に集結した子供たちを見る限り、まだ日本は大丈夫だという安心を感じさせられる大会であった。

子供たちの元気な掛け声・眼差しを見て、改めて公益社団でなければできない大会であることを自覚した。

(尾座和)

■飽食時代といわれる現代、糖尿病の患者が増えている。その60%は親も糖尿病であり、遺伝性は非常に強いといわれている。以前、ラジオで糖尿病の話聞いた。遺伝的素因がないと暴飲暴食をしてもなりにくいとのことであった。わが家は酒飲みの家系であるが、幸い糖尿病の遺伝的素因はなさそうであり、これまでの認識により安心していった。しかし、日整学術・生涯学習講習会で糖尿病の講演(15頁参照)を拝聴したが、遺伝的素因にはあまり触れていなかった。糖尿病や肥満などの生活習慣病には糖質制限食が最適であるとのこと。その実践により全身の代謝・血流が改善するというもの。私は糖尿病ではないが、貴重な知識を得たので好きな日本酒を控え、実践してみた。結果はいつも空腹感がする。体重は2kg減って現在66kg。体の動きは良い。空腹時には免疫力が高くなり、病気にかかりにくい。逆に満腹時は免疫力が低下し、風邪をひきやすくなるほか、病気になる危険性が高くなるといわれている。空腹感に幸せを感じ、健康な体を維持しよう。食欲の秋、食べ過ぎにご注意!

(多夢楽)

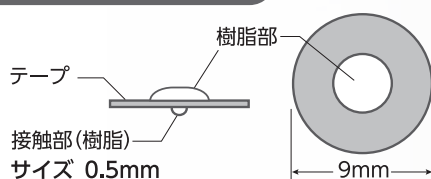
平成27年11月20日発行
公益社団法人 日本柔道整復師会
〒110-0007 東京都台東区上野公園16-9
電 話 (03)3821-3511 (大代表)

発行人 工藤 鉄 男
編集者 森 川 伸 治
制作・印刷所 東京リスマチック株式会社

粒^{かんわ}のちからでこりを緩和!

Eのスポット

●拡大イメージ図



プラスチックの粒だから、
肌に優しい!

接触部が樹脂になり、金属アレルギーの方にもご使用いただけます。

使い方も簡単!

シールを剥がすだけで簡単に貼れます。一枚のテープに樹脂を固定しているので、接触部が取れる心配はほとんどありません。

目立たない!

テープ径が9mmと小さいのでかぶれにくく目立ちません。

はりが苦手な方にも、抵抗なくご使用いただけます。

※効果には個人差があります。



家庭用貼付型接触粒
医療機器届出番号:22B1X00006000005

■製造販売業者

SEIRIN[®]
ISO13485 認証取得

〒424-0037 静岡県静岡市清水区袖師町1007-1
TEL.054-365-5700 FAX.054-365-5139
<http://www.seirin.tv>

☎ 0120-100890
(通話料無料ダイヤル)

国民年金基金 は公的な年金制度であり

☆掛金は全額「社会保険料控除」の対象となり
所得税や住民税が軽減されます。

☆受け取る年金にも、「公的年金等控除」があり、
大変有利な扱いとなっています。

税金がこんなに有利！

掛金を収めているときは

掛金は全額社会保険料控除となり、所得税や住民税が軽減されます。

掛金が年額457,560円の方で課税所得が500万円の
35歳0月の男性の場合（年金月額6万円で加入した場合）

1口目A型（12,710円）、2口目以降A型に4口（6,355円×4口）加入した場合

●年間の掛金 $457,560円 \times (所得税率20.420\% + 住民税10\%)$
= 139,190円 軽減

●実質の負担（年間）... 318,370円になります。

所得税率表

課税所得額	195万円以下	195万円超～330万円以下	330万円超～695万円以下	695万円超～900万円以下	900万円超～1,800万円以下	1,800万円超～
税率	5.105%	10.210%	20.420%	23.483%	33.693%	40.840%

※住民税は一律10%です。



65歳から年金を受け取るときも

公的年金等控除の対象となりますので、年金以外に収入がない場合、お一人お一人158万円までは、税金がかかりません。

夫

国民年金
(年金月額)
約6.5万円

国民年金基金
(年金月額)
6万円

年金額
約150万円
(12.5万円×12ヵ月)

公的年金等
控除
120万円

基礎控除
38万円

税金が
かかりません

課税所得が
ありません

妻

国民年金
(年金月額)
約6.5万円

国民年金基金
(年金月額)
6万円

年金額
約150万円
(12.5万円×12ヵ月)

公的年金等
控除
120万円

基礎控除
38万円

税金が
かかりません

※国民年金の年金月額の6.5万円は、20歳から60歳までの40年間、保険料を納付した時の平成25年度の満額です。
※国民年金基金の年金月額は、夫婦とも35歳0月で1口目終身年金A型、またはB型、2口目以降、終身年金A型・B型と確定年金I型・II型・III型・IV型・V型のうち、7つの型から4口選んだ場合。

【年金額・掛金額例】1口目A型の場合（月額）

男性	加入時年齢	年金月額	掛金月額	女性	加入時年齢	年金月額	掛金月額
	25歳0月	20,000円	8,370円		25歳0月	20,000円	9,780円
	30歳0月	20,000円	10,170円		30歳0月	20,000円	11,880円
	35歳0月	20,000円	12,710円		35歳0月	20,000円	14,850円
	40歳0月	15,000円	12,405円		40歳0月	15,000円	14,490円
	45歳0月	15,000円	17,235円		45歳0月	15,000円	20,115円
女性	50歳0月	10,000円	17,940円	女性	50歳0月	10,000円	20,930円

※加入の型などお悩みでしたら、ご希望に合うマイプランをお作りすることも可能です。お気軽にお問合せください!!

お問い合わせ

日本柔道整復師国民年金基金 ☎0120-305205

〒101-0041 東京都千代田区神田須田町1-22-8 イイツカビル8階 ☎03-3253-0701 FAX 専用 ☎0120-505405
ホームページ <http://www.juuseikikin.or.jp>



損保ジャパン日本興亜

安心のために できることのすべてを

損保ジャパンと日本興亜損保は2014年9月1日に合併し、新会社「損保ジャパン日本興亜」としてスタートいたしました。日本でいちばん大きな安心をお届けするために、これまでの損保にできなかったことに取り組み、これからの損保に本当に必要なサービスを提供してまいります。

損保ジャパン日本興亜、誕生。

損害保険ジャパン日本興亜株式会社

〒160-8338 東京都新宿区西新宿1-26-1

Tel: 03(3349)3111 <http://www.sjnk.co.jp/>

日本柔道整復師 協同組合員 のみなさまへ

毎月ご加入
できます！

日整協同組合「新・柔道整復師賠償保険制度」は 「鍼灸師賠償」がオプションとして加入できます！！

「新・柔道整復師賠償保険」では、「柔道整復師業務」の賠償事故だけでなく、任意オプションで「鍼灸師などの業務」「日常生活」「個人情報漏えい」の賠償事故も補償できます！！

基本プラン

「基本プラン」は以下による賠償事故を補償します！

「柔道整復師業務」

(柔道整復師特約)

「院内施設の不備」

(施設危険担保特約)

「院内施設でのケガ見舞金」

(傷害見舞費用担保特約)



任意オプションプラン

(任意に1つからでも選択できます)

「任意オプションプラン」は以下による賠償事故を補償します！

①「鍼灸師などの業務」

(はり師、きゅう師
あん摩・マッサージ・指圧師特約)

②「日常生活」

(個人賠償責任保険)

③「個人情報漏えい」

(個人情報取扱事業者保険)

*「任意オプションプラン」だけのご加入はできません。必ず「基本プラン」とのセットでのご加入となります。

総合補償制度(所得補償・医療補償等)

病気・ケガ・交通事故による所得減・医療費等をトータルで補償します！！

毎月ご加入
できます！

(所得補償保険、新・団体医療保険、交通事故傷害保険)

40%割引！

(団体割引20%+過去の損害率による割引25%)

日整協同組合
ならではの
割引です！

(団体長期障害所得補償保険)

20%割引！

(団体割引20%)

ご契約の際、被保険者数が1,000名未満もしくは5,000名以上になった場合、保険料が変更となります。

この内容は概要を説明したものです。詳しい内容については、取扱代理店または損保ジャパン日本興亜営業店にお問い合わせください。

<引受保険会社>

損害保険ジャパン日本興亜株式会社

〒100-8965 東京都千代田区霞が関3-7-3

団体・公務開発部 第二課

(TEL) 03-3593-6453 (FAX) 03-3593-6751

<取扱幹事代理店>

アームリンク 株式会社

〒371-0844 群馬県前橋市古市町1-43-6 真塩ビル2F

(TEL) 027-255-3233 (FAX) 027-280-4659

SJNK14-06221 (2014.8.6)

「損害保険ジャパン日本興亜株式会社」は、損保ジャパンと日本興亜損保が2014年9月1日に合併して誕生した会社です。

公益社団法人日本柔道整復師会の皆さまへ

MS&AD

三井住友海上

柔道整復師会総合賠償保険

(柔道整復師特別約款・施設所有(管理)者特別約款)

昭和47年より日本柔道整復師会の会員の皆さまを
柔道整復業務にかかわる事故からお守りしています。

保険期間: 毎年 11 月 1 日から1年間

募集期間: 9月～10月下旬

【特徴】

- 日本柔道整復師会と三井住友海上とが会員の皆さまのために開発した保険です。
- 地域支援事業における介護予防事業に従事中の事故も補償いたします。
- 患者様が施術所内でのケガにより通院された場合の患者様へのお見舞金等も補償いたします。

団体長期障害所得補償保険(GLTD)・所得補償保険

病気・ケガでの休業を補償いたします。

保険期間: 毎年 8 月 1 日から1年間

補償期間: お申込日の翌月 1 日午後 4 時～平成 28 年 8 月 1 日午後 4 時

※随時中途加入のお申込みを受け付けております。

【特徴】

- 業務中・業務外を問わず病気・ケガで就業不能となり、休診された時の収入を補償します。
- 保険料はそれぞれ下表の割引が適用されており、個人でご契約されるよりお得です。

保険種類	団体割引率 ^(注1)	損害率による割引 ^(注2)	合計割引率
団体長期障害所得補償保険 (GLTD)	15%	—	15%
所得補償保険	20%	40%	52%

(注1) 前年度ご加入いただいた被保険者の人数に従って割引率が適用されます。

(注2) 損害率により、毎年割引率が見直しされます。

上記割引率は平成 27 年 8 月 1 日に保険期間を開始した契約のものです。

※この内容は保険の特徴を説明したものです。詳しい内容については、専用パンフレット「日本柔道整復師会総合賠償保険のご案内」「日本柔道整復師会団体長期障害所得補償保険(GLTD)・所得補償保険・団体総合生活補償保険(MS&AD 型)のおすすめ」をご参照いただくか取扱代理店または三井住友海上の営業店にお問い合わせください。

＜団体窓口＞

公益社団法人日本柔道整復師会 事務局 TEL03-3821-3511

＜引受保険会社＞

三井住友海上火災保険株式会社

広域法人部営業第一課

〒101-8011 東京都千代田区神田駿河台 3-11-1

TEL03-3259-6692 FAX03-3259-7218

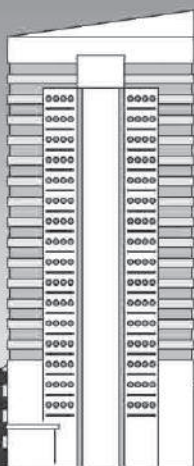
＜主要取扱代理店＞

株式会社ウーベル保険事務所

〒104-0041 東京都中央区新富 2-4-5 ニュー新富ビル 8F

TEL03-3553-8552 FAX03-3553-8553

HANADA GAKUEN



TAU 東京有明医療大学

- ☐ 保健医療学部（鍼灸学科／柔道整復学科）
- ☐ 看護学部（看護学科）

附帯教育 ※保健医療学部のみ

（公財）日本体育協会公認AT適応コース アスレティックトレーナーコース
（公財）健康・体力づくり事業財団 健康運動実践指導者養成校 健康運動実践指導者コース

☐ 大学院

平成27年4月より

『保健医療学研究科 博士課程』がスタート!

- ・保健医療学研究科 博士前期課程／博士後期課程
- ・看護学研究科 修士課程

〒135-0063 東京都江東区有明2丁目9番1号 Tel.03-6703-7000

りんかい線「国際展示場」または「東雲」駅より徒歩13分

ゆりかもめ「有明テニスの森」駅より徒歩10分

<http://www.tau.ac.jp>

厚生労働大臣認定・指定

日本鍼灸理療専門学校 日本柔道整復専門学校

- ☐ 本科 鍼灸あん摩マッサージ指圧科（昼3年・夜3年）
- ☐ 専科 鍼灸科（昼3年・夜3年）
- ☐ 柔道整復科（昼3年・夜3年）

附帯教育

（公財）日本体育協会公認AT適応コース アスレティックトレーナー専攻科

〒150-0031 東京都渋谷区桜丘町20番1号 Tel.03-3461-4787

「渋谷」駅 南改札西口より徒歩5分

<http://www.hanada.ac.jp>

医療人の原点へ
現代医療の未来へ

三四郎くん は、日本全国で最も多く使われている 接骨院・整骨院専用のレセコンです！

使い勝手の良い操作性はもちろん、
療養費改正等の保険改正にすばやく対応。
迅速サポートでご好評を頂いている『三四郎くん』は、
常に進化を続ける信頼と実績の事務管理ソフトです。

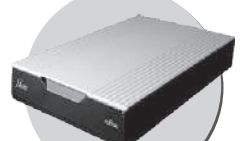


他社からのデータ移動も
お任せ下さい！
※一部ご希望に添えない場合があります。



保険証入力画面 ▶
傷病通院入力画面 ▶

オプションで
さらに便利！



保険証リーダー



サーマルプリンタ



バーコードシステム

超音波画像観察装置 ラインナップ

骨・軟骨・筋・腱・靱帯などがリアルタイムに観察できます。



日立アロカメディカル

F37

医療機器認証番号
第 223AABZX00150000 号



本多電子
HS-2200

医療機器認証番号
第 225AHBZX00034 号



日立アロカメディカル

Noblus

医療機器認証番号
第 224ABBZX00092000 号



その他、様々な機種を取り揃えております。



株式会社 エス・エス・ビー

WEB | <http://www.sanshiro-net.co.jp>

本社 | 〒305-0853 茨城県つくば市榎戸748-2 沼尻産業ビル
TEL 029-839-0346 / FAX 029-838-0874

営業所 | 札幌、青森、仙台、北陸、長野、名古屋、関西、中国四国、福岡、鹿児島

最新柔整情報が読める!! 柔整ホットニュース
▶▶▶ <http://www.jusei-news.com/>



柔道整復師倫理綱領

国民医療の一端として柔道整復術は、国民大衆に広く受け入れられ、民族医学として伝承してきたところであるが、限らない未来へ連綿として更に継承発展すべく、倫理綱領を定めるものとする。ここに柔道整復師は、その名誉を重んじ、倫理綱領の崇高な理念と、目的達成に全力を傾注することを誓つものである。

- 1、柔道整復師の職務に誇りと責任をもち、仁慈の心を以て人類への奉仕に生涯を貫く。
- 2、日本古来の柔道精神を涵養し、国民の規範となるべく人格の陶冶に努める。
- 3、相互に尊敬と協力を努め、分をわきまえ法を守り、業務を遂行する。
- 4、学問を尊重し技術の向上に努めると共に、患者に対して常に真摯な態度と誠意を以て接する。
- 5、業務上知りえた秘密を厳守すると共に、人種、信条、性別、社会的地位などにかかわらず患者の回復に全力を尽くす。